

「佐渡市の国際化について」の
市民アンケート調査

結果報告書

平成 21 年 3 月

佐渡市 企画財政部 企画振興課
財団法人新潟県国際交流協会

< 目 次 >

I 調査の概要	1
---------	---

II 調査結果

1 回答者のプロフィール	5
(1) 基本属性 (性・年代)	5
(2) 職業	6
(3) 島内居住について (出身地・居住年数)	7
(4) 居住地域	8
2 佐渡の国際化について	9
(1) 海外交流の活性に対する是非	9
(2) 海外交流促進に期待すること	11
(3) 海外交流促進に不安なこと	13
3 佐渡の魅力について<世界に誇れる佐渡の景勝や文化など>	15
4 外国人誘客への取組について<取組の重要度>	17
5 外国人住民の増加について<是非及び当該理由>	19
6 外国人住民とのトラブルについて<有無及びトラブル内容>	22
7 多文化共生への取組について	25
(1) 多文化共生社会実現のために『市』が為すべきこと	25
(2) 多文化共生社会実現のために『日本人住民』が為すべきこと	27
(3) 多文化共生社会実現のために『外国人住民』が為すべきこと	29
(4) 多文化共生社会実現のために『民間活動団体』が為すべきこと	31
8 国際交流活動への参加について<参加経験>	33
9 参加してみたい国際交流活動について<今後の参加意向>	35
10 自由意見について<佐渡市の国際化に関する意見や要望>	37

(付) 調査白票

I 調査の概要

1. 調査の目的

このアンケートは、佐渡市が国際化に対応するための施策を策定するにあたり、佐渡市民の「外国人住民や外国人観光客の受け入れなど」に対する考え方や意見、要望の基礎情報を得、また、活用する目的で実施した。

2. 調査の設計

- (1) 調査地域：佐渡市全域。
- (2) 調査対象：上記調査地域内に居住する、外国人を除く 20 歳以上の男女個人。
- (3) 標本数：1,000 サンプル。
- (4) 抽出方法：佐渡市住民基本台帳からの無作為抽出。
- (5) 調査方法：自記入式アンケート。
- (6) 調査期間：平成 21 年 3 月 3 日～3 月 15 日。

3. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

4. 回収結果

総回収数 474 サンプル。

内、無効（すべて未記入票）数 1 サンプル。

有効回収数 473 サンプル、有効回収率 47.3%。

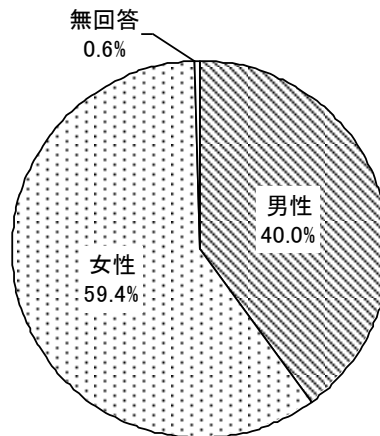
Ⅱ 調査結果

1 回答者のプロフィール

(1) 基本属性（性・年代）

問1 性別について（いずれかに○を付けてください。）

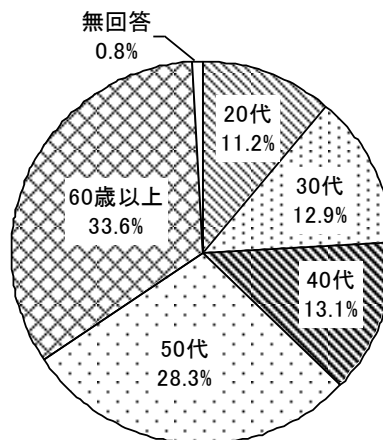
【性別】



N=473

問2 年齢について（いずれかに○をつけてください。）

【年代別】



N=473

女性・高齢者からの回答が多い。

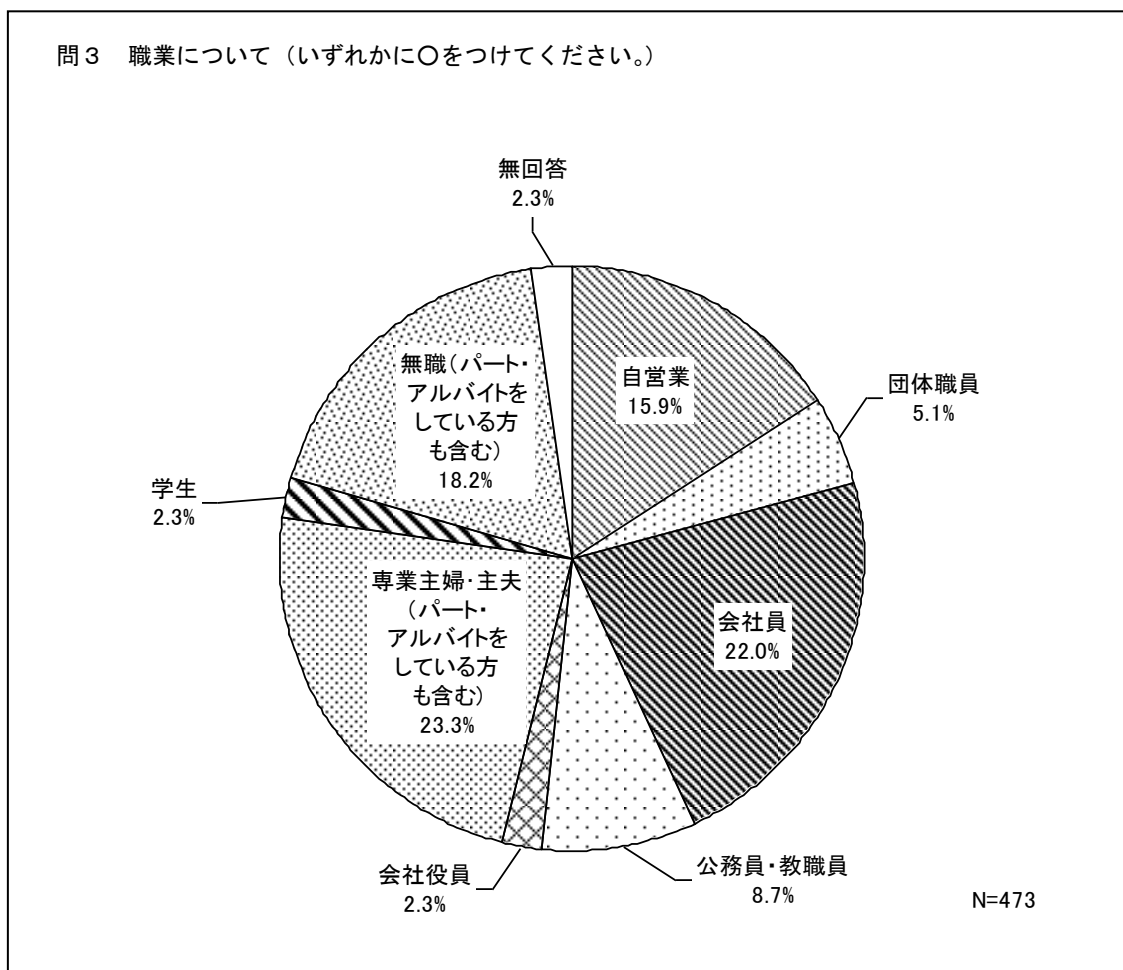
回答者（記入者）の基本属性（性及び年代）について聞いた。

【全体結果の要約】

女性、高い年代層からの回答が多い。

「女性」が約6割、『50歳以上』が6割強を占める。

(2) 職業



半数以上が『有職者』。

回答者（記入者）の職業について聞いた。

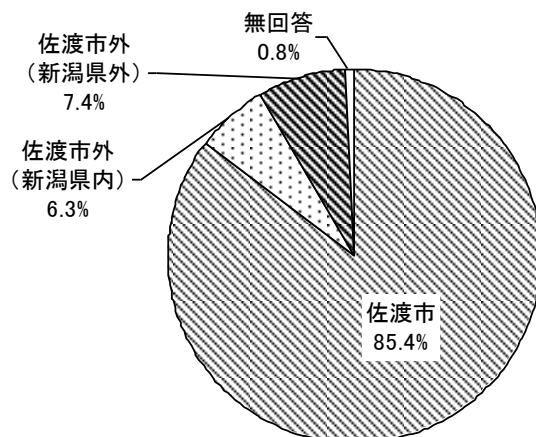
【全体結果の要約】

「専業主婦・主夫」「学生」「無職」「無回答」以外の『有職者』が過半数（53.9%）を占める。

(3) 島内居住について（出身地・居住年数）

問4 出身地について（いずれかに○をつけてください。）

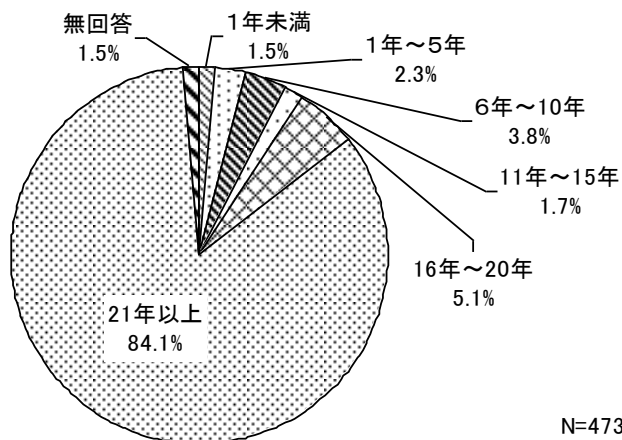
【出身地別】



N=473

問5 佐渡での居住年数について（いずれかに○をつけてください。）

【居住年数別】



N=473

昔からの居住者が大多数。

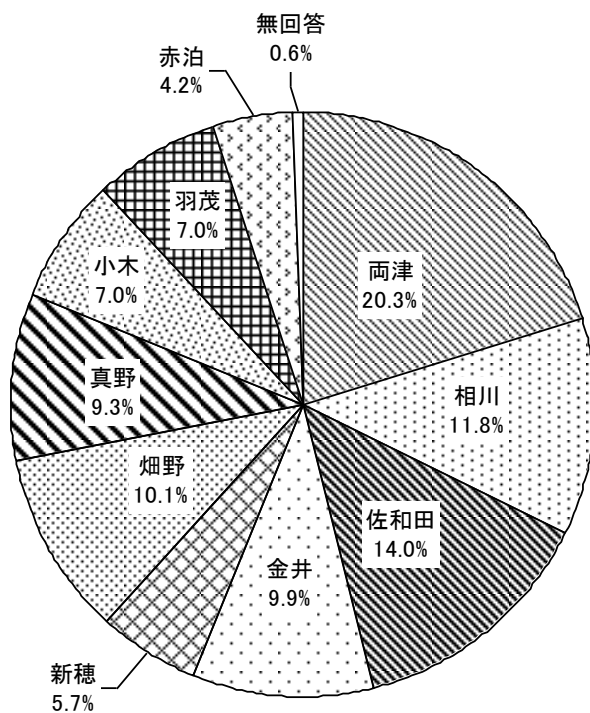
回答者（記入者）の島内居住状況（出身地及び居住年数）について聞いた。

【全体結果の要約】

多くは、『島内出身者』であり、『21年以上の長期居住者』である。両者とも85%前後を占める。

(4) 居住地

問6 現在お住まいの地域について（いずれかに○をつけてください。）



N=473

「両津」「佐和田」の回答者が比較的多い。

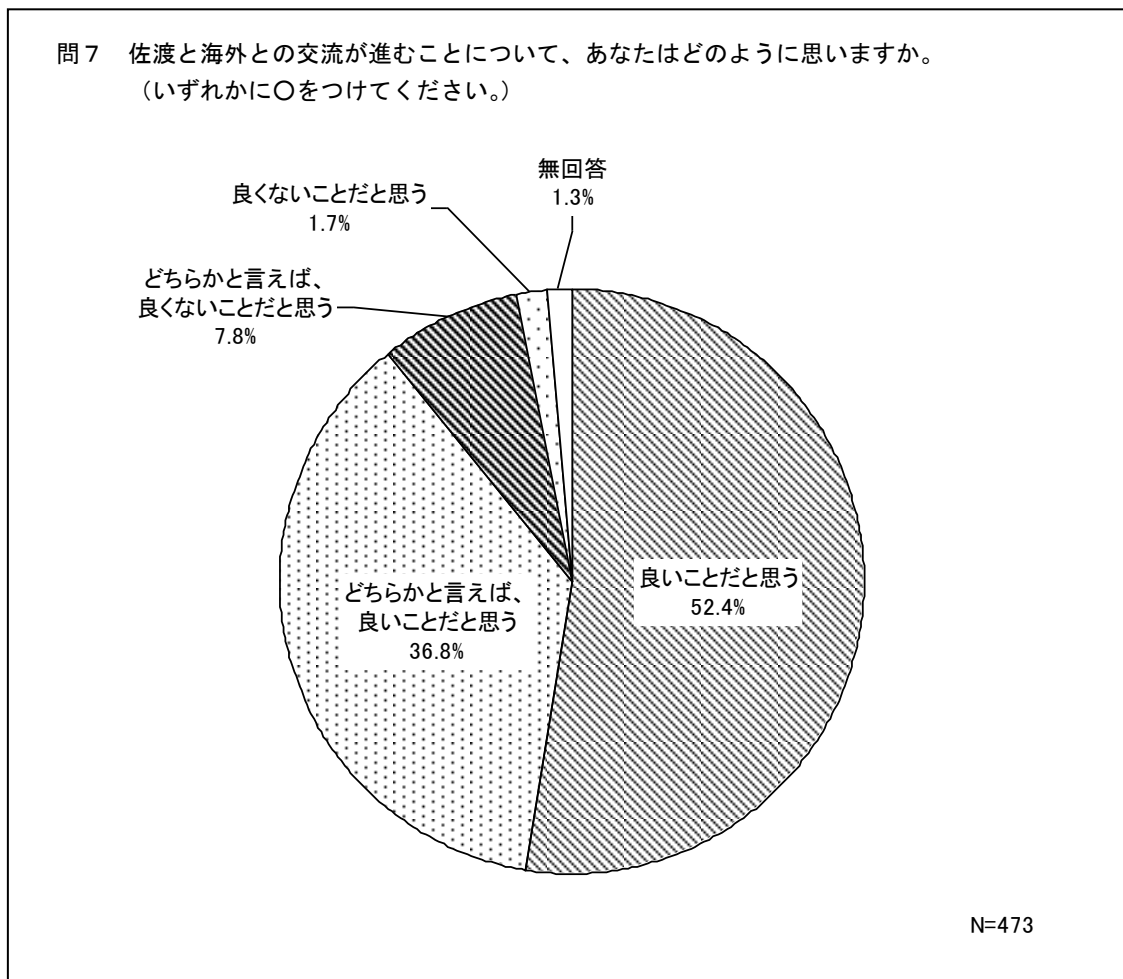
回答者の居住地について聞いた。

【全体結果の要約】

回答者の居住地は、上図のとおり構成である。住民の人口数を反映してか、「両津地域」と「佐和田地域」の構成比が幾分高くなっている。

2 佐渡の国際化について

(1) 海外交流の活性に対する是非



——— 圧倒的多数が国際交流の推進に前向き。 ———

佐渡市と海外の交流が進むことへの考え方（是非）について聞いた。

【全体結果の要約】

「良いことだと思う」と「どちらかと言えば、良いことだと思う」を合わせた『促進積極派（是）』は 89.2%、一方で「良くないことだと思う」と「どちらかと言えば、良くないことだと思う」を合わせた『促進消極派（非）』は 9.5%である。

圧倒的多数が『国際交流の今以上の活性化（促進されること）を望んでいること』を伺える結果である。

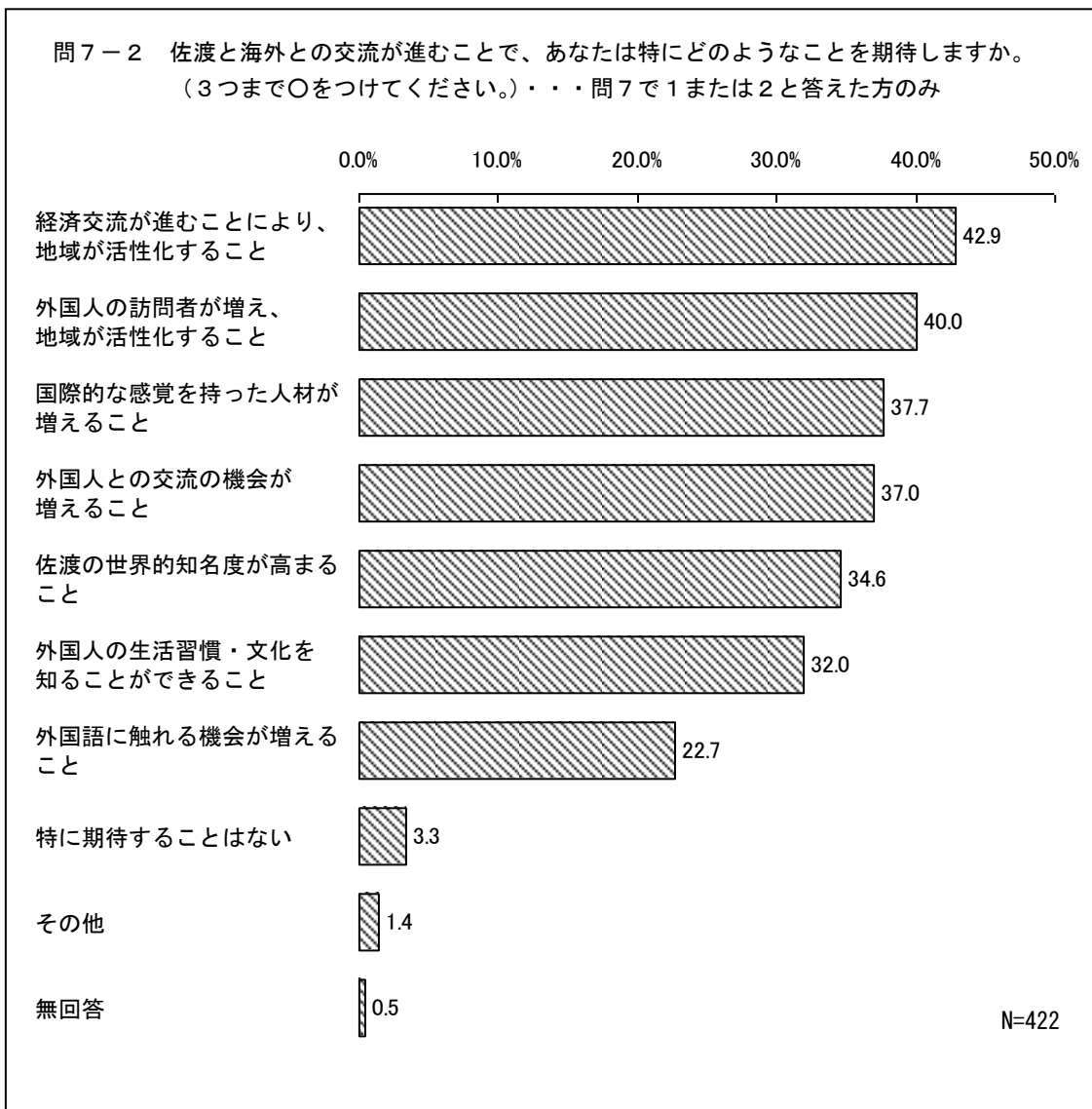
【結果考察】（表 3-1 参照）

『促進消極派（非）』に目立った性差はみられないが、『促進積極派（是）』においては、男性の方が女性よりも＜強い促進派（良いことだと思う）＞の比率は高くなる。

表 3-1 海外交流の活性に対する是非（性・年代・居住地別集計結果）

		合計	良いこと だと思う	どちらか と言え ば、良い ことだ と思う	どちらか と言え ば、良 くない こと だと思 う	良くない ことだ と思 う	無回答
【総 数】		473 100.0%	248 52.4%	174 36.8%	37 7.8%	8 1.7%	6 1.3%
性別	男性	189 100.0%	107 56.6%	64 33.9%	12 6.3%	4 2.1%	2 1.1%
	女性	281 100.0%	140 49.8%	110 39.1%	25 8.9%	4 1.4%	2 0.7%
	無回答	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%
年代別	20代	53 100.0%	29 54.7%	19 35.8%	3 5.7%	1 1.9%	1 1.9%
	30代	61 100.0%	30 49.2%	26 42.6%	4 6.6%	1 1.6%	0 0.0%
	40代	62 100.0%	35 56.5%	20 32.3%	3 4.8%	3 4.8%	1 1.6%
	50代	134 100.0%	80 59.7%	43 32.1%	9 6.7%	1 0.7%	1 0.7%
	60歳以上	159 100.0%	73 45.9%	66 41.5%	17 10.7%	2 1.3%	1 0.6%
	無回答	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%
居住地別	両津	96 100.0%	50 52.1%	36 37.5%	8 8.3%	1 1.0%	1 1.0%
	相川	56 100.0%	32 57.1%	17 30.4%	6 10.7%	1 1.8%	0 0.0%
	佐和田	66 100.0%	34 51.5%	25 37.9%	5 7.6%	1 1.5%	1 1.5%
	金井	47 100.0%	20 42.6%	21 44.7%	5 10.6%	0 0.0%	1 2.1%
	新穂	27 100.0%	19 70.4%	8 29.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	畑野	48 100.0%	29 60.4%	16 33.3%	2 4.2%	0 0.0%	1 2.1%
	真野	44 100.0%	22 50.0%	13 29.5%	7 15.9%	2 4.5%	0 0.0%
	小木	33 100.0%	19 57.6%	12 36.4%	2 6.1%	0 0.0%	0 0.0%
	羽茂	33 100.0%	13 39.4%	16 48.5%	1 3.0%	3 9.1%	0 0.0%
	赤泊	20 100.0%	9 45.0%	10 50.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%

(2) 海外交流促進に期待すること



多方面への効果が期待されている。

問7-1で「良いことだと思う」または「どちらかと言えば、良いことだと思う」の回答者（422人）へ、海外交流の促進に期待することについて聞いた。

【全体結果の要約】

「経済交流が進むことにより、地域が活性化すること」や「外国人の訪問者が増え、地域が活性化すること」への期待が4割以上あるが、これ以外の各事項への期待も2割強～4割弱はある。広範な領域への期待が持たれている結果である。

一方で、「特に期待することはない」との回答は僅かである。

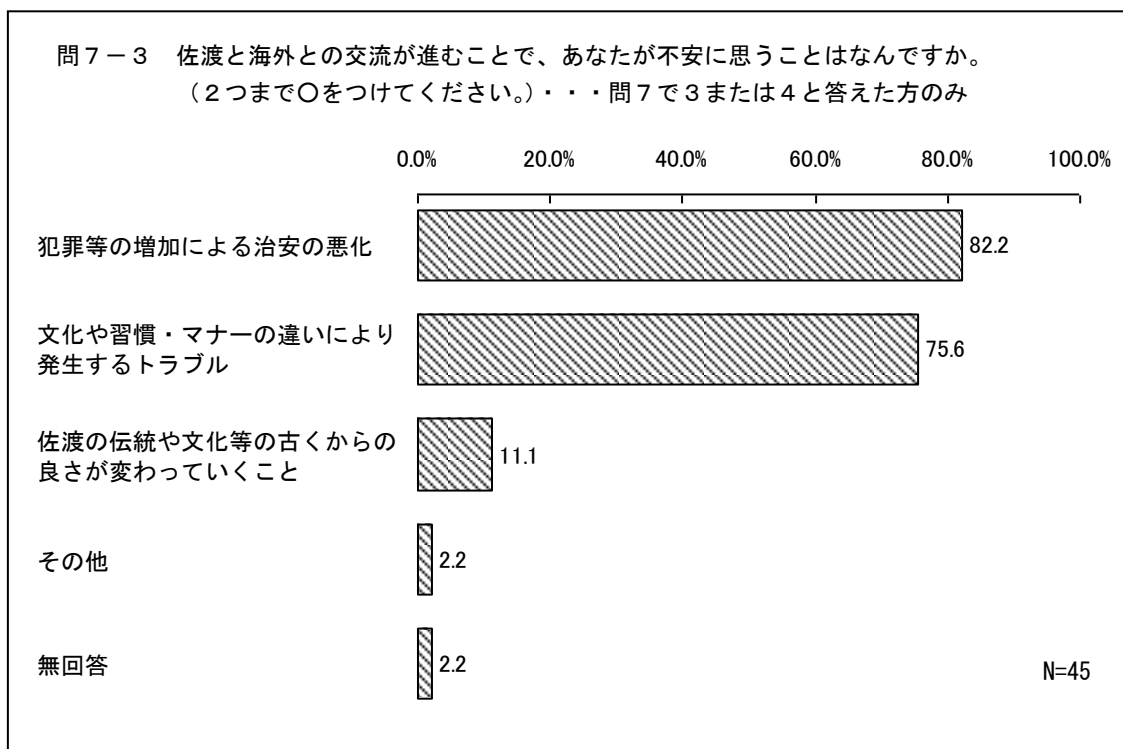
【結果考察】（表3-2参照）

「外国人との交流の機会が増えること」への期待率は、男性の方が女性よりも高く、「外国語に触れる機会が増えること」や「佐渡の世界的知名度が高まること」への期待率は、女性の方が高い。

表3-2 海外交流促進に期待すること（性・年代・居住地域別集計結果）

		該当者 合計	外国人との 交流の機 会が増え ること	国際的な 感覚を 持った人 材が増え ること	外国人の 訪問者が 増え、地 域が活性 化するこ と	経済交流 が進むこ とによ り、地域 が活性化 すること	外国人の 生活習 慣・文化 を知ること ができる こと	外国語に 触れる機 会が増え ること	佐渡の世 界的知名 度が高ま ること	特に期待 すること はない	その他	無回答
【総 数】		422 100.0%	156 37.0%	159 37.7%	169 40.0%	181 42.9%	135 32.0%	96 22.7%	146 34.6%	14 3.3%	6 1.4%	2 0.5%
性別	男性	171 100.0%	71 41.5%	69 40.4%	72 42.1%	73 42.7%	58 33.9%	31 18.1%	53 31.0%	5 2.9%	2 1.2%	1 0.6%
	女性	250 100.0%	85 34.0%	90 36.0%	96 38.4%	107 42.8%	77 30.8%	65 26.0%	93 37.2%	9 3.6%	4 1.6%	1 0.4%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	20代	48 100.0%	16 33.3%	12 25.0%	19 39.6%	18 37.5%	10 20.8%	16 33.3%	18 37.5%	2 4.2%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	56 100.0%	23 41.1%	21 37.5%	27 48.2%	18 32.1%	15 26.8%	15 26.8%	18 32.1%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	55 100.0%	21 38.2%	18 32.7%	24 43.6%	21 38.2%	21 38.2%	14 25.5%	18 32.7%	2 3.6%	1 1.8%	0 0.0%
	50代	123 100.0%	43 35.0%	48 39.0%	47 38.2%	58 47.2%	38 30.9%	26 21.1%	44 35.8%	4 3.3%	1 0.8%	1 0.8%
	60歳以上	139 100.0%	53 38.1%	60 43.2%	51 36.7%	65 46.8%	51 36.7%	25 18.0%	48 34.5%	5 3.6%	4 2.9%	1 0.7%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地域別	両津	86 100.0%	31 36.0%	32 37.2%	35 40.7%	34 39.5%	29 33.7%	27 31.4%	31 36.0%	1 1.2%	1 1.2%	0 0.0%
	相川	49 100.0%	18 36.7%	19 38.8%	19 38.8%	24 49.0%	18 36.7%	9 18.4%	17 34.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%
	佐和田	59 100.0%	28 47.5%	19 32.2%	25 42.4%	19 32.2%	17 28.8%	15 25.4%	18 30.5%	3 5.1%	0 0.0%	0 0.0%
	金井	41 100.0%	13 31.7%	13 31.7%	15 36.6%	16 39.0%	12 29.3%	8 19.5%	12 29.3%	4 9.8%	2 4.9%	0 0.0%
	新穂	27 100.0%	9 33.3%	10 37.0%	10 37.0%	14 51.9%	9 33.3%	4 14.8%	11 40.7%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%
	畑野	45 100.0%	16 35.6%	22 48.9%	15 33.3%	23 51.1%	19 42.2%	10 22.2%	14 31.1%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%
	真野	35 100.0%	10 28.6%	19 54.3%	18 51.4%	13 37.1%	11 31.4%	7 20.0%	9 25.7%	3 8.6%	0 0.0%	0 0.0%
	小木	31 100.0%	16 51.6%	12 38.7%	13 41.9%	16 51.6%	6 19.4%	4 12.9%	16 51.6%	0 0.0%	1 3.2%	1 3.2%
	羽茂	29 100.0%	9 31.0%	7 24.1%	10 34.5%	14 48.3%	7 24.1%	9 31.0%	12 41.4%	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%
	赤泊	19 100.0%	6 31.6%	6 31.6%	8 42.1%	7 36.8%	7 36.8%	3 15.8%	6 31.6%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(3) 海外交流促進に不安なこと



「治安悪化」や「トラブル発生」への危惧が多い。

問7-2で「良くないことだと思う」または「どちらかと言えば、良くないことだと思う」の回答者（45人）へ、海外交流が促進することで不安に思うことを聞いた。

【全体結果の要約】

当設問への該当者は45人とかなり少ない。その中で、「犯罪等の増加による治安の悪化」や「文化や習慣・マナーの違いにより発生するトラブル」への不安がかなり多くなっている。

【結果考察】（表 3－3 参照）

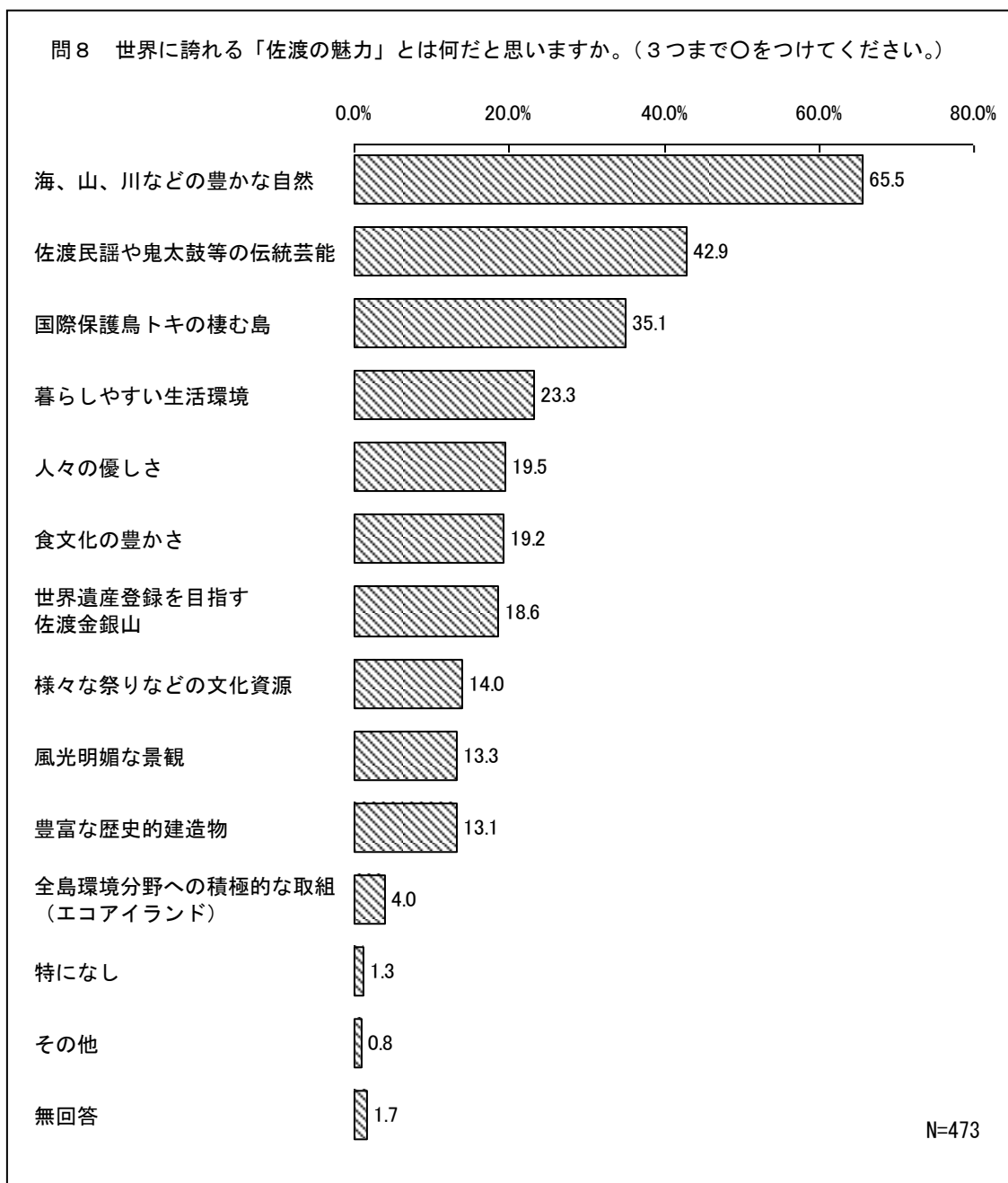
各属性毎の該当数は極めて少ないため、分析コメントは割愛する。

回答結果の分散は下表を参照されたい。

表 3－3 海外交流促進に不安なこと（性・年代・居住地域別集計結果）

		該当者 合計	文化や習 慣・マ ナーの違 いにより 発生する トラブル	犯罪等の 増加によ る治安の 悪化	佐渡の伝統 や文化等の 古くからの 良さが変 わっていく こと	その他	無回答
【総 数】		45 100.0%	34 75.6%	37 82.2%	5 11.1%	1 2.2%	1 2.2%
性別	男性	16 100.0%	13 81.3%	13 81.3%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%
	女性	29 100.0%	21 72.4%	24 82.8%	4 13.8%	0 0.0%	1 3.4%
	無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -
年代別	20代	4 100.0%	3 75.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
	30代	5 100.0%	5 100.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	6 100.0%	4 66.7%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	50代	10 100.0%	5 50.0%	8 80.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%
	60歳以上	19 100.0%	16 84.2%	16 84.2%	4 21.1%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地域別	両津	9 100.0%	7 77.8%	8 88.9%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%
	相川	7 100.0%	5 71.4%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	佐和田	6 100.0%	3 50.0%	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	金井	5 100.0%	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	新穂	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	畑野	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	真野	9 100.0%	7 77.8%	5 55.6%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%
	小木	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	羽茂	4 100.0%	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	赤泊	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -

3 佐渡の魅力について〈世界に誇れる佐渡の景勝や文化など〉



島民が誇る佐渡の魅力の第一位は「豊かな自然」。

世界に誇れる佐渡の魅力について聞いた。

【全体結果の要約】

3人に2人程度が「海、山、川などの豊かな自然」をあげた。

これに「佐渡民謡や鬼太鼓等の伝統芸能」や「国際保護鳥トキの棲む島」が次ぐ。

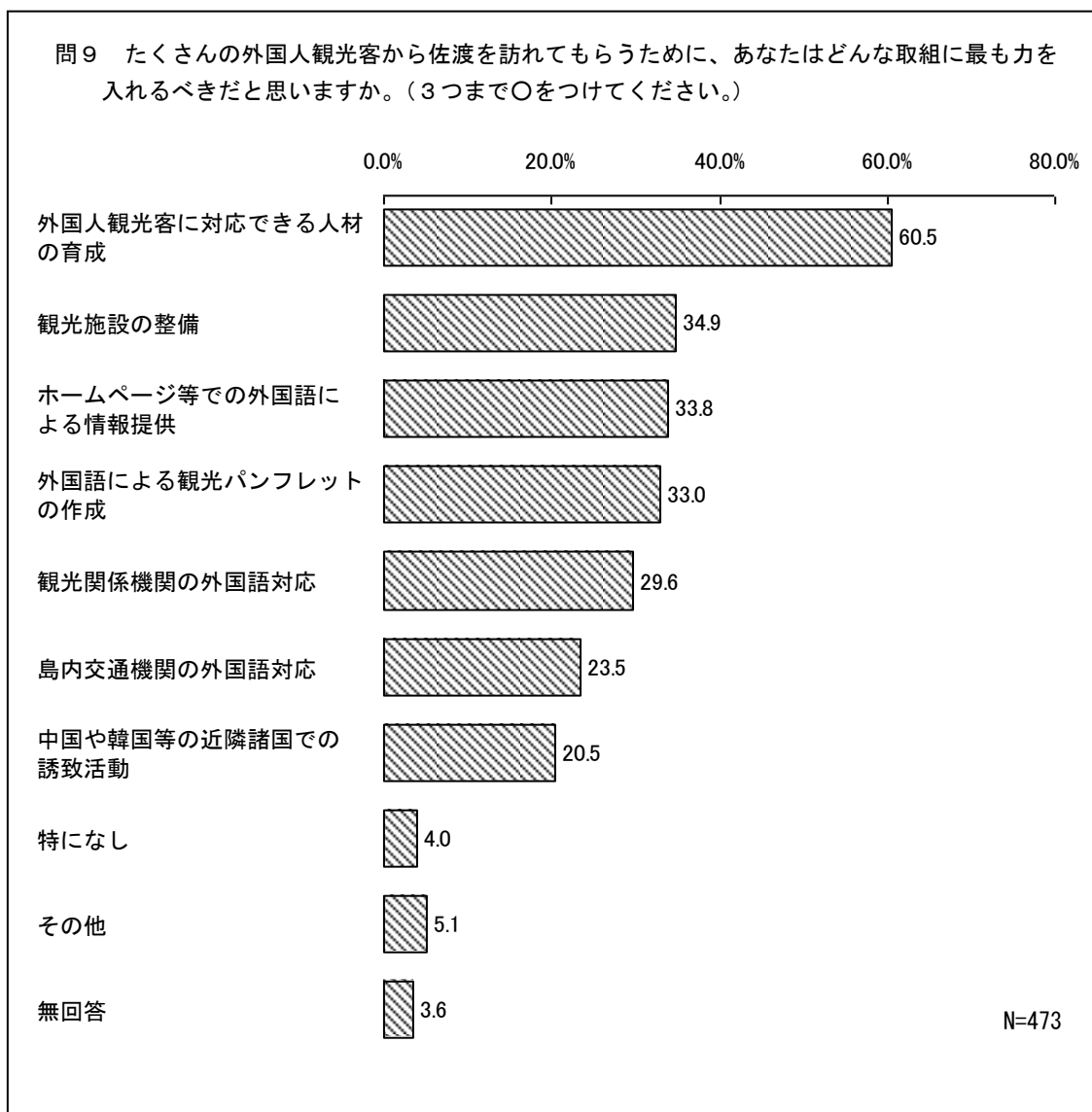
【結果考察】（表4参照）

「海、山、川などの豊かな自然」の比率に性差はみられない。「人々の優しさ」、「世界遺産登録を目指す佐渡金銀山」、「風光明媚な景観」を魅力とする人の比率は、男性の方が女性よりも高く、「国際保護鳥トキの棲む島」や「佐渡民謡や鬼太鼓等の伝統芸能」の比率は、女性の方が高い。

表4 佐渡の魅力について<世界に誇れる佐渡の景勝や文化など>
(性・年代・居住地域別集計結果)

		合計	海、山、川などの豊かな自然	暮らしやすい生活環境	食文化の豊かさ	人々の優しさ	世界遺産登録を目指す佐渡金銀山	風光明媚な景観	国際保護鳥トキの棲む島	全島環境分野への積極的な取組(エコアイランド)	豊富な歴史的建造物	佐渡民謡や鬼太鼓等の伝統芸能	様々な祭りなどの文化資源	特になし	その他	無回答	
【総数】		473 100.0%	310 65.5%	110 23.3%	91 19.2%	92 19.5%	88 18.6%	63 13.3%	166 35.1%	19 4.0%	62 13.1%	203 42.9%	66 14.0%	6 1.3%	4 0.8%	8 1.7%	
性別	男性	189 100.0%	125 66.1%	44 23.3%	33 17.5%	48 25.4%	41 21.7%	34 18.0%	58 30.7%	9 4.8%	22 11.6%	67 35.4%	30 15.9%	0 0.0%	1 0.5%	3 1.6%	
	女性	281 100.0%	184 65.5%	66 23.5%	58 20.6%	44 15.7%	47 16.7%	29 10.3%	108 38.4%	10 3.6%	40 14.2%	135 48.0%	35 12.5%	6 2.1%	3 1.1%	3 1.1%	
	無回答	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	
年代別	20代	53 100.0%	33 62.3%	5 9.4%	12 22.6%	7 13.2%	6 11.3%	8 15.1%	12 22.6%	1 1.9%	4 7.5%	26 49.1%	15 28.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.8%	
	30代	61 100.0%	46 75.4%	6 9.8%	11 18.0%	9 14.8%	8 13.1%	11 18.0%	22 36.1%	1 1.6%	10 16.4%	31 50.8%	7 11.5%	3 4.9%	0 0.0%	0 0.0%	
	40代	62 100.0%	40 64.5%	12 19.4%	7 11.3%	11 17.7%	6 9.7%	7 11.3%	24 38.7%	2 3.2%	5 8.1%	35 56.5%	15 24.2%	2 3.2%	2 3.2%	1 1.6%	
	50代	134 100.0%	87 64.9%	29 21.6%	34 25.4%	31 23.1%	24 17.9%	17 12.7%	43 32.1%	7 5.2%	18 13.4%	60 44.8%	13 9.7%	0 0.0%	1 0.7%	1 0.7%	
	60歳以上	159 100.0%	103 64.8%	57 35.8%	27 17.0%	34 21.4%	44 27.7%	20 12.6%	64 40.3%	8 5.0%	25 15.7%	50 31.4%	15 9.4%	1 0.6%	1 0.6%	2 1.3%	
	無回答	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	
居住地域別	両津	96 100.0%	66 68.8%	16 16.7%	19 19.8%	18 18.8%	20 20.8%	16 16.7%	39 40.6%	5 5.2%	15 15.6%	38 39.6%	12 12.5%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	
	相川	56 100.0%	39 69.6%	11 19.6%	13 23.2%	7 12.5%	16 28.6%	6 10.7%	19 33.9%	0 0.0%	9 16.1%	22 39.3%	3 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.6%	
	佐和田	66 100.0%	38 57.6%	11 16.7%	11 16.7%	10 15.2%	12 18.2%	11 16.7%	24 36.4%	3 4.5%	8 12.1%	29 43.9%	9 13.6%	2 3.0%	1 1.5%	2 3.0%	
	金井	47 100.0%	28 59.6%	15 31.9%	9 19.1%	5 10.6%	7 10.6%	7 14.9%	16 34.0%	2 4.3%	8 17.0%	20 42.6%	7 14.9%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	
	新穂	27 100.0%	21 77.8%	4 14.8%	5 18.5%	4 14.8%	1 3.7%	5 18.5%	10 37.0%	1 3.7%	5 18.5%	18 66.7%	3 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	畑野	48 100.0%	33 68.8%	12 25.0%	8 16.7%	12 25.0%	7 14.6%	6 12.5%	19 39.6%	5 10.4%	4 8.3%	24 50.0%	9 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	真野	44 100.0%	31 70.5%	20 45.5%	10 22.7%	9 20.5%	12 27.3%	2 4.5%	14 31.8%	1 2.3%	2 4.5%	12 27.3%	8 18.2%	2 4.5%	1 2.3%	0 0.0%	
	小木	33 100.0%	21 63.6%	6 18.2%	6 18.2%	7 21.2%	8 24.2%	6 18.2%	6 18.2%	1 3.0%	9 27.3%	15 45.5%	8 24.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	羽茂	33 100.0%	22 66.7%	9 27.3%	8 24.2%	8 27.3%	9 12.1%	4 6.1%	2 6.1%	14 42.4%	0 0.0%	1 3.0%	12 36.4%	4 12.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%
	赤泊	20 100.0%	10 50.0%	6 30.0%	2 10.0%	2 55.0%	3 15.0%	2 10.0%	2 10.0%	5 25.0%	1 5.0%	12 60.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	無回答	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	

4 外国人誘客への取組について<取組の重要度>



まずは「人材の育成」が最重点課題である。

多数の外国人観光客から佐渡を訪れてもらうために、優先して力を入れるべき取組について聞いた。

【全体結果の要約】

6割は「外国人観光客に対応できる人材の育成」への取組を重要（優先）すべきと回答した。

これに「観光施設の整備」、「ホームページ等での外国語による情報提供」、「外国語による観光パンフレットの作成」が3割台で次ぐ。

【結果考察】（表5参照）

「外国人観光客に対応できる人材の育成」の比率に性差はみられない。「中国や韓国等の近隣諸国での誘致活動」や「ホームページ等での外国語による情報提供」に力を入れるべきとする人の比率は、男性の方が女性よりも高く、「外国語による観光パンフレットの作成」や「観光施設の整備」の比率は、女性の方が高い。

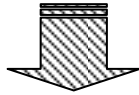
表5 外国人誘客への取組について＜取組の重要度＞（性・年代・居住地域別集計結果）

		合計	中国や韓国等の近隣諸国での誘致活動	ホームページ等での外国語による情報提供	外国語による観光パンフレットの作成	観光関係機関の外国語対応	外国人観光客に対応できる人材の育成	島内交通機関の外国語対応	観光施設の整備	特になし	その他	無回答
【総数】		473 100.0%	97 20.5%	160 33.8%	156 33.0%	140 29.6%	286 60.5%	111 23.5%	165 34.9%	19 4.0%	24 5.1%	17 3.6%
性別	男性	189 100.0%	55 29.1%	72 38.1%	48 25.4%	54 28.6%	116 61.4%	45 23.8%	59 31.2%	9 4.8%	9 4.8%	6 3.2%
	女性	281 100.0%	42 14.9%	88 31.3%	106 37.7%	85 30.2%	169 60.1%	66 23.5%	105 37.4%	10 3.6%	15 5.3%	11 3.9%
	無回答	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	20代	53 100.0%	12 22.6%	21 39.6%	14 26.4%	17 32.1%	29 54.7%	14 26.4%	21 39.6%	1 1.9%	4 7.5%	0 0.0%
	30代	61 100.0%	6 9.8%	25 41.0%	21 34.4%	25 41.0%	32 52.5%	19 31.1%	22 36.1%	2 3.3%	2 3.3%	1 1.6%
	40代	62 100.0%	12 19.4%	30 48.4%	24 38.7%	20 32.3%	38 61.3%	15 24.2%	20 32.3%	1 1.6%	4 6.5%	0 0.0%
	50代	134 100.0%	24 17.9%	49 36.6%	46 34.3%	37 27.6%	87 64.9%	27 20.1%	39 29.1%	5 3.7%	6 4.5%	5 3.7%
	60歳以上	159 100.0%	43 27.0%	35 22.0%	49 30.8%	40 25.2%	99 62.3%	35 22.0%	61 38.4%	10 6.3%	8 5.0%	11 6.9%
	無回答	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地域別	両津	96 100.0%	17 17.7%	34 35.4%	32 33.3%	33 34.4%	59 61.5%	20 20.8%	41 42.7%	3 3.1%	7 7.3%	3 3.1%
	相川	56 100.0%	13 23.2%	16 28.6%	26 46.4%	16 28.6%	36 64.3%	11 19.6%	17 30.4%	1 1.8%	0 0.0%	4 7.1%
	佐和田	66 100.0%	11 16.7%	19 28.8%	28 42.4%	16 24.2%	38 57.6%	14 21.2%	24 36.4%	4 6.1%	4 6.1%	1 1.5%
	金井	47 100.0%	9 19.1%	11 23.4%	14 29.8%	13 27.7%	26 55.3%	14 29.8%	15 31.9%	3 6.4%	6 12.8%	2 4.3%
	新穂	27 100.0%	8 29.6%	9 33.3%	9 33.3%	10 37.0%	18 66.7%	5 18.5%	9 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%
	畑野	48 100.0%	11 22.9%	20 41.7%	10 20.8%	10 20.8%	34 70.8%	14 29.2%	17 35.4%	1 2.1%	1 2.1%	2 4.2%
	真野	44 100.0%	10 22.7%	16 36.4%	10 22.7%	13 29.5%	24 54.5%	15 34.1%	14 31.8%	4 9.1%	0 0.0%	0 4.5%
	小木	33 100.0%	7 21.2%	14 42.4%	11 33.3%	11 33.3%	17 51.5%	9 27.3%	11 33.3%	1 3.0%	3 9.1%	1 3.0%
	羽茂	33 100.0%	5 15.2%	13 39.4%	8 24.2%	12 36.4%	21 63.6%	4 12.1%	10 30.3%	1 3.0%	3 9.1%	1 3.0%
	赤泊	20 100.0%	6 30.0%	8 40.0%	6 30.0%	5 25.0%	12 60.0%	5 25.0%	6 30.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

5 外国人住民の増加について〈是非及び当該理由〉

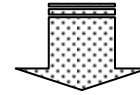
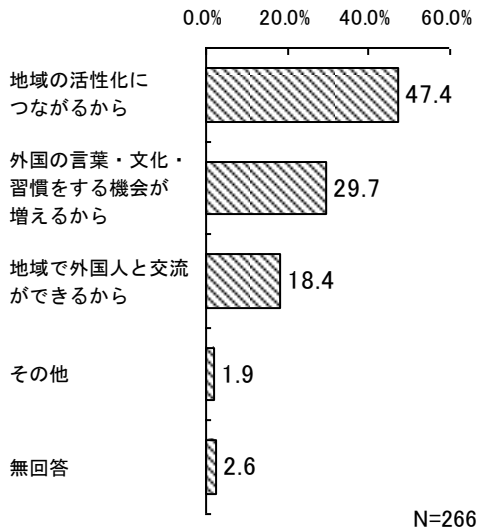
【①地域内外国人増加への是非】

問 10 本市に在住している外国人は現在約 500 人となっており、増加傾向にあります。
地域に外国人が増えていくことをどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)



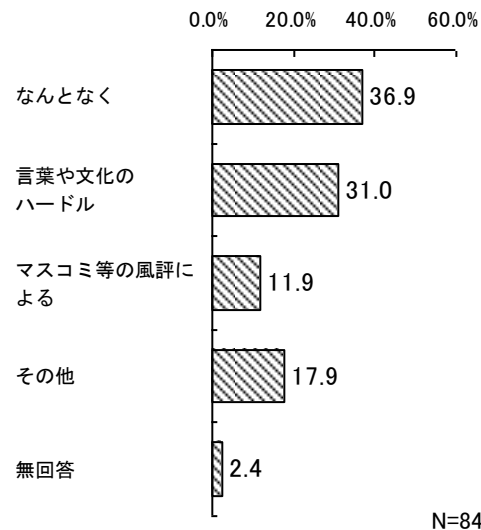
【②望ましい理由】

その理由(いずれかに○)



【③望ましくない理由】

その理由(いずれかに○)



半数以上は、「地域活性化につながる」他の事由から、
『外国人の受け入れを歓迎』している。

地域内の外国人増加に関し、どう思うかを聞いた。また、「望ましい」の回答者（266人）、「望ましくない」の回答者（84人）それぞれへ、そう思う理由についても聞いた。

【全体結果の要約】

過半数は「望ましい」と回答した。なお、「望ましくない」と意見保留者である「わからない」の回答は同率である。

また、望ましい理由は、「地域の活性化につながるから」が最も多く、一方で、望ましくない理由は「なんとなく」や「言葉や文化のハードル」といった理由が比較的多い。

【結果考察】（表6①～②参照）

「望ましい」の比率は、男性の方が女性よりも高く、受け入れに積極的といえよう。

また、望ましい理由に大きな性差はみられないが、望ましくない理由では、「言葉や文化のハードル」をあげる人は女性が1割程度高くなっている。このことから女性の消極性が垣間見える。

表6① 外国人住民の増加について〈是非〉（性・年代・居住地域別集計結果）

		合計	望ましい	望ましくない	わからない	無回答
【総数】		473 100.0%	266 56.2%	84 17.8%	84 17.8%	39 8.2%
性別	男性	189 100.0%	117 61.9%	25 13.2%	29 15.3%	18 9.5%
	女性	281 100.0%	149 53.0%	58 20.6%	54 19.2%	20 7.1%
	無回答	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%
年代別	20代	53 100.0%	32 60.4%	11 20.8%	8 15.1%	2 3.8%
	30代	61 100.0%	27 44.3%	16 26.2%	17 27.9%	1 1.6%
	40代	62 100.0%	38 61.3%	11 17.7%	10 16.1%	3 4.8%
	50代	134 100.0%	76 56.7%	21 15.7%	24 17.9%	13 9.7%
	60歳以上	159 100.0%	93 58.5%	23 14.5%	24 15.1%	19 11.9%
	無回答	4 100.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%
	居住地域別	両津	96 100.0%	59 61.5%	18 18.8%	14 14.6%
相川		56 100.0%	31 55.4%	11 19.6%	6 10.7%	8 14.3%
佐和田		66 100.0%	36 54.5%	15 22.7%	10 15.2%	5 7.6%
金井		47 100.0%	21 44.7%	8 17.0%	13 27.7%	5 10.6%
新穂		27 100.0%	19 70.4%	2 7.4%	6 22.2%	0 0.0%
畑野		48 100.0%	32 66.7%	3 6.3%	8 16.7%	5 10.4%
真野		44 100.0%	21 47.7%	10 22.7%	9 20.5%	4 9.1%
小木		33 100.0%	18 54.5%	7 21.2%	4 12.1%	4 12.1%
羽茂		33 100.0%	15 45.5%	7 21.2%	9 27.3%	2 6.1%
赤泊		20 100.0%	14 70.0%	2 10.0%	4 20.0%	0 0.0%
無回答		3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%

表6② 外国人住民の増加について〈当該理由〉（性・年代・居住地域別集計結果）

【◆望ましい理由】

		該当者 合計	外国の言葉・文化・習慣を する機会が増えるから	地域で外国人と交流が できるから	地域の活性化につながるから	その他	無回答
【総 数】		266 100.0%	79 29.7%	49 18.4%	126 47.4%	5 1.9%	7 2.6%
性別	男性	117 100.0%	37 31.6%	21 17.9%	55 47.0%	3 2.6%	1 0.9%
	女性	149 100.0%	42 28.2%	28 18.8%	71 47.7%	2 1.3%	6 4.0%
	無回答	-	-	-	-	-	-
年代別	20代	32 100.0%	10 31.3%	8 25.0%	12 37.5%	1 3.1%	1 3.1%
	30代	27 100.0%	9 33.3%	6 22.2%	11 40.7%	0 0.0%	1 3.7%
	40代	38 100.0%	12 31.6%	8 21.1%	15 39.5%	2 5.3%	1 2.6%
	50代	76 100.0%	15 19.7%	17 22.4%	42 55.3%	0 0.0%	2 2.6%
	60歳以上	93 100.0%	33 35.5%	10 10.8%	46 49.5%	2 2.2%	2 2.2%
	無回答	-	-	-	-	-	-
居住地域別	両津	59 100.0%	17 28.8%	11 18.6%	26 44.1%	1 1.7%	4 6.8%
	相川	31 100.0%	9 29.0%	7 22.6%	15 48.4%	0 0.0%	0 0.0%
	佐和田	36 100.0%	11 30.6%	5 13.9%	19 52.8%	1 2.8%	0 0.0%
	金井	21 100.0%	7 33.3%	1 4.8%	12 57.1%	0 0.0%	1 4.8%
	新穂	19 100.0%	4 21.1%	6 31.6%	7 36.8%	1 5.3%	1 5.3%
	畑野	32 100.0%	9 28.1%	11 34.4%	12 37.5%	0 0.0%	0 0.0%
	真野	21 100.0%	7 33.3%	3 14.3%	11 52.4%	0 0.0%	0 0.0%
	小木	18 100.0%	5 27.8%	2 11.1%	10 55.6%	1 5.6%	0 0.0%
	羽茂	15 100.0%	4 26.7%	2 13.3%	8 53.3%	0 0.0%	1 6.7%
	赤泊	14 100.0%	6 42.9%	1 7.1%	6 42.9%	1 7.1%	0 0.0%
	無回答	-	-	-	-	-	-

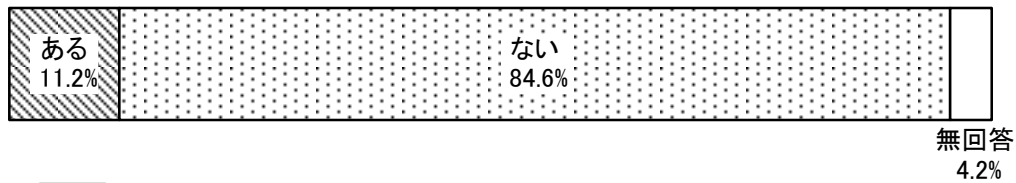
【◆望ましくない理由】

		該当者 合計	なんとなく	言葉や文化のハードル	マスコミ等の風評による	その他	無回答
【総 数】		84 100.0%	31 36.9%	26 31.0%	10 11.9%	15 17.9%	2 2.4%
性別	男性	25 100.0%	9 36.0%	6 24.0%	3 12.0%	6 24.0%	1 4.0%
	女性	58 100.0%	22 37.9%	20 34.5%	6 10.3%	9 15.5%	1 1.7%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	20代	11 100.0%	5 45.5%	4 36.4%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%
	30代	16 100.0%	5 31.3%	3 18.8%	3 18.8%	5 31.3%	0 0.0%
	40代	11 100.0%	3 27.3%	4 36.4%	0 0.0%	4 36.4%	0 0.0%
	50代	21 100.0%	9 42.9%	5 23.8%	4 19.0%	3 14.3%	0 0.0%
	60歳以上	23 100.0%	9 39.1%	10 43.5%	1 4.3%	2 8.7%	1 4.3%
	無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%
居住地域別	両津	18 100.0%	6 33.3%	7 38.9%	2 11.1%	3 16.7%	0 0.0%
	相川	11 100.0%	3 27.3%	5 45.5%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%
	佐和田	15 100.0%	8 53.3%	3 20.0%	0 0.0%	4 26.7%	0 0.0%
	金井	8 100.0%	2 25.0%	3 37.5%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%
	新穂	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
	畑野	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	真野	10 100.0%	4 40.0%	3 30.0%	2 20.0%	0 0.0%	1 10.0%
	小木	7 100.0%	4 57.1%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%
	羽茂	7 100.0%	2 28.6%	1 14.3%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%
	赤泊	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

6 外国人住民とのトラブルについて〈有無及びトラブル内容〉

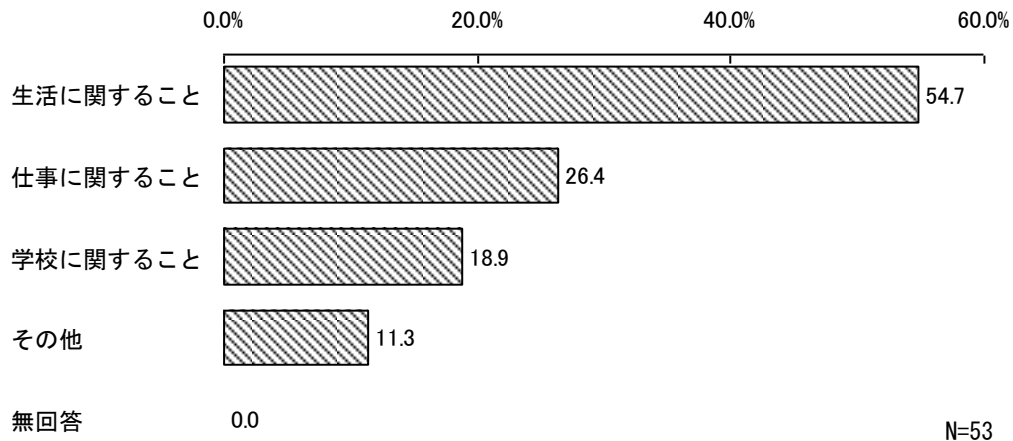
【①トラブルの有無】

問 11 あなたは、外国人住民との間でトラブルを体験したことがありますか。
 又はご自分以外の方のトラブルについて聞いたことがありますか。
 ある場合にはその内容もお書きください。（いずれかに○をつけてください。）



【②トラブル内容】

その内容（あてはまるものすべてに○）



1 割程度が「生活面」他の事象で、
 『外国人とのトラブルを経験』している。

外国人住民とのトラブル体験の有無について聞いた。また、「ある」の回答者（53 人）へは、その内容についても聞いた。

【全体結果の要約】

トラブルを体験したことが「ある」人は 1 割程度である。

また、その内容は、「生活に関すること」が半数以上にのぼり、「仕事に関すること」や「学校に関すること」も少なくはない。

【結果考察】（表7①～②参照）

「ある」の比率に大きな性差はみられない。

「生活」や「学校」に関するトラブル率は、女性の方が高く、「仕事」に関するトラブル率は男性の方が高い。

表7① 外国人住民とのトラブルについて＜有無＞（性・年代・居住地域別集計結果）

		合計	ある	ない	無回答
【総 数】		473 100.0%	53 11.2%	400 84.6%	20 4.2%
性別	男性	189 100.0%	23 12.2%	158 83.6%	8 4.2%
	女性	281 100.0%	29 10.3%	240 85.4%	12 4.3%
	無回答	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%
年代別	20代	53 100.0%	6 11.3%	47 88.7%	0 0.0%
	30代	61 100.0%	7 11.5%	52 85.2%	2 3.3%
	40代	62 100.0%	11 17.7%	50 80.6%	1 1.6%
	50代	134 100.0%	11 8.2%	117 87.3%	6 4.5%
	60歳以上	159 100.0%	17 10.7%	131 82.4%	11 6.9%
	無回答	4 100.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%
居住地域別	両津	96 100.0%	10 10.4%	81 84.4%	5 5.2%
	相川	56 100.0%	5 8.9%	47 83.9%	4 7.1%
	佐和田	66 100.0%	8 12.1%	56 84.8%	2 3.0%
	金井	47 100.0%	8 17.0%	37 78.7%	2 4.3%
	新穂	27 100.0%	4 14.8%	23 85.2%	0 0.0%
	畑野	48 100.0%	7 14.6%	38 79.2%	3 6.3%
	真野	44 100.0%	3 6.8%	40 90.9%	1 2.3%
	小木	33 100.0%	2 6.1%	29 87.9%	2 6.1%
	羽茂	33 100.0%	2 6.1%	30 90.9%	1 3.0%
	赤泊	20 100.0%	3 15.0%	17 85.0%	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%

表7② 外国人住民とのトラブルについて<トラブル内容>
(性・年代・居住地域別集計結果)

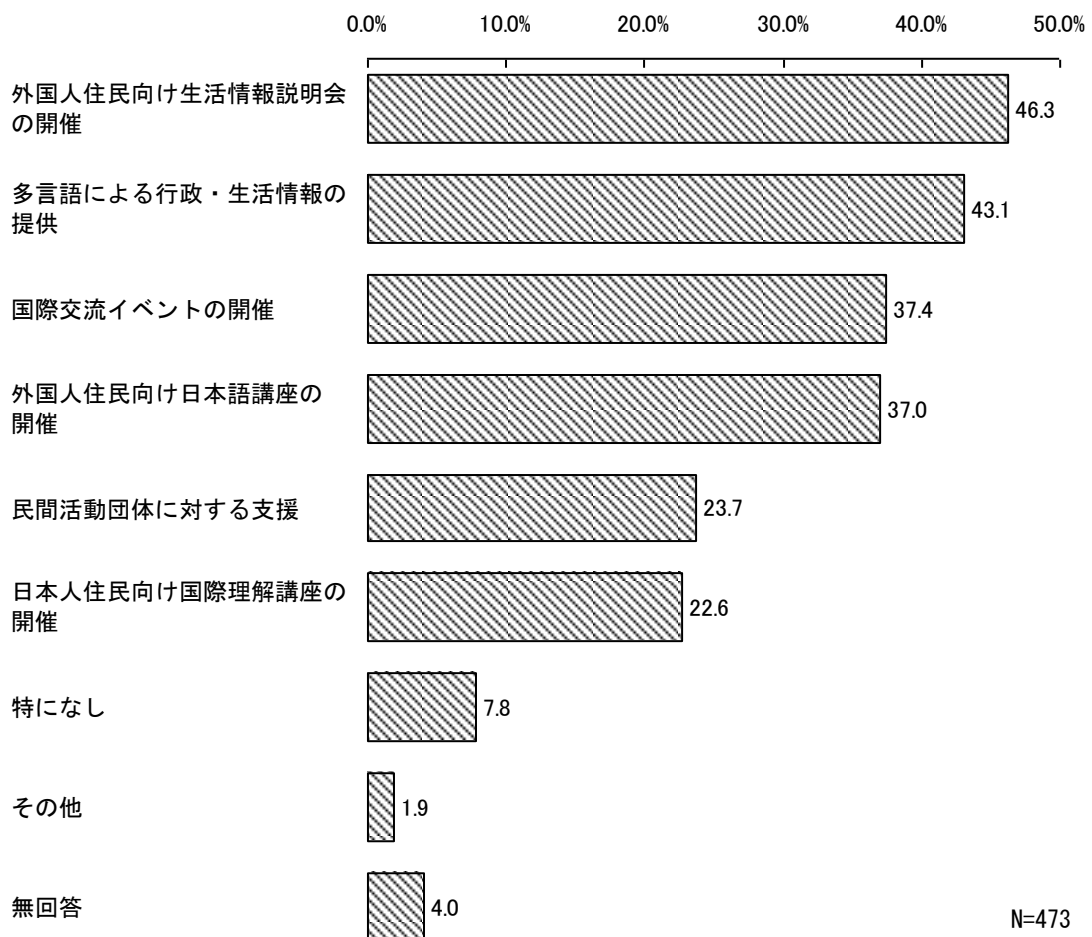
		該当者 合計	生活に 関する こと	仕事に 関する こと	学校に 関する こと	その他	無回答
【総 数】		53 100.0%	29 54.7%	14 26.4%	10 18.9%	6 11.3%	0 0.0%
性別	男性	23 100.0%	12 52.2%	7 30.4%	4 17.4%	2 8.7%	0 0.0%
	女性	29 100.0%	16 55.2%	7 24.1%	6 20.7%	4 13.8%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	20代	6 100.0%	4 66.7%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	7 100.0%	4 57.1%	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%
	40代	11 100.0%	5 45.5%	3 27.3%	3 27.3%	1 9.1%	0 0.0%
	50代	11 100.0%	6 54.5%	3 27.3%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%
	60歳以上	17 100.0%	9 52.9%	5 29.4%	2 11.8%	3 17.6%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地域別	両津	10 100.0%	4 40.0%	4 40.0%	2 20.0%	2 20.0%	0 0.0%
	相川	5 100.0%	3 60.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	佐和田	8 100.0%	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	金井	8 100.0%	4 50.0%	1 12.5%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%
	新穂	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%
	畑野	7 100.0%	2 28.6%	3 42.9%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%
	真野	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	小木	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	羽茂	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	赤泊	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

7 多文化共生への取組について

(1) 多文化共生社会実現のために『市』がすべきこと

問 12 地域の日本人住民と外国人住民とが、文化や言語、生活習慣の違いを超えて、相互理解を深めながら、ともに暮らしやすい社会（＝多文化共生社会）を実現するためには、どんな取組に力を入れるべきだと思いますか。

(1) 市がすべきこと（3つまで○をつけてください。）



—— 「外国人向け説明会開催」「多言語情報提供」への要望が多い。 ——

多文化共生社会を実現するために、『市』がすべきことを聞いた。

【全体結果の要約】

「外国人住民向け生活情報説明会の開催」や「多言語による行政・生活情報の提供」への要望が4割を超える。これらに「国際交流イベントの開催」と「外国人住民向け日本語講座の開催」が4割弱で次ぐ。

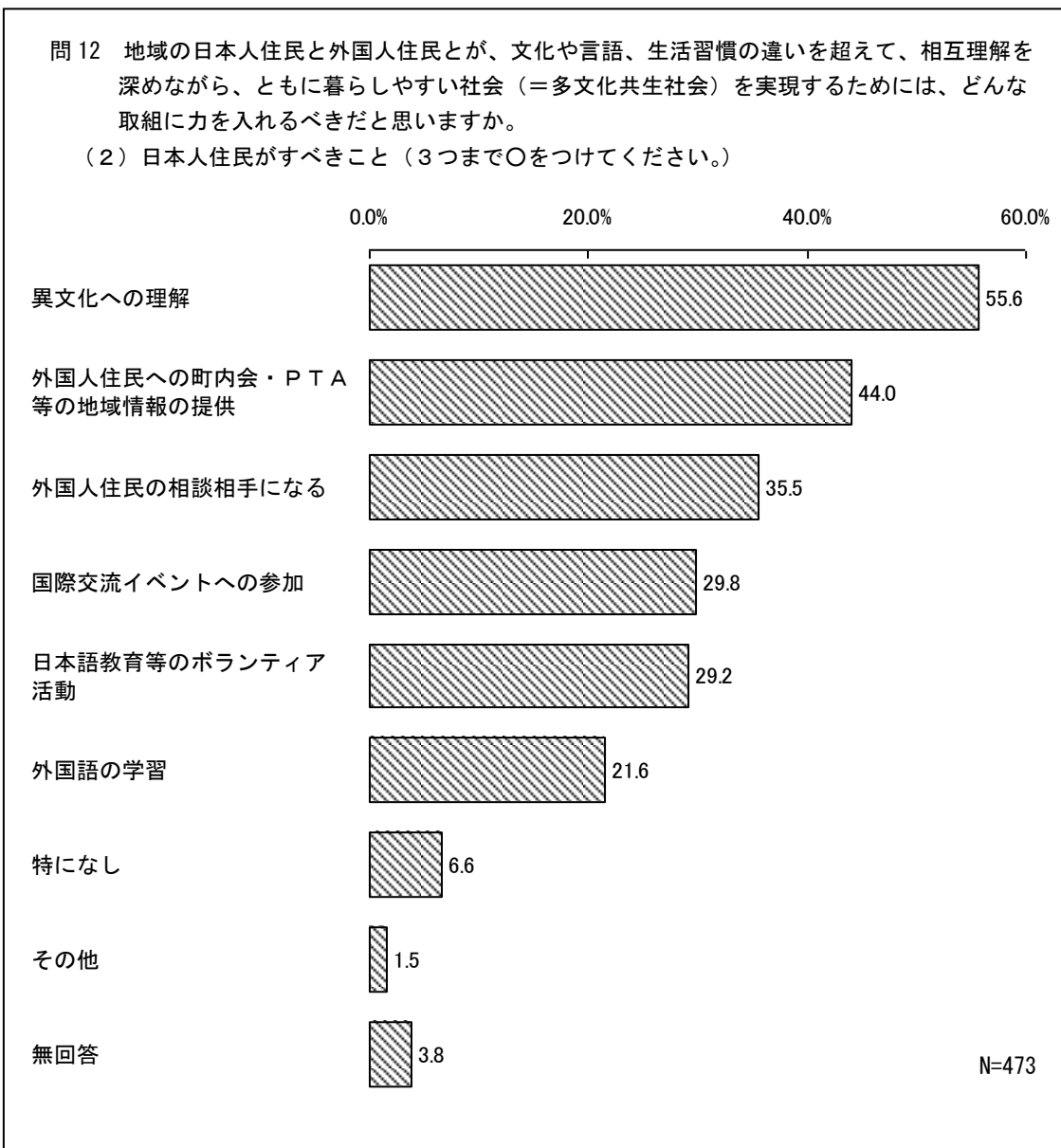
【結果考察】（表 8－1 参照）

「外国人住民向け生活情報説明会の開催」や「日本人住民向け国際理解講座の開催」の要望率は男性の方が女性よりも高くなっている。

表 8－1 多文化共生社会実現のために『市』が為すべきこと
（性・年代・居住地域別集計結果）

		合計	多言語による行政・生活情報の提供	外国人住民向け生活情報説明会の開催	外国人住民向け日本語講座の開催	日本人住民向け国際理解講座の開催	国際交流イベントの開催	民間活動団体に対する支援	特になし	その他	無回答
【総数】		473 100.0%	204 43.1%	219 46.3%	175 37.0%	107 22.6%	177 37.4%	112 23.7%	37 7.8%	9 1.9%	19 4.0%
性別	男性	189 100.0%	84 44.4%	94 49.7%	74 39.2%	50 26.5%	73 38.6%	41 21.7%	15 7.9%	6 3.2%	5 2.6%
	女性	281 100.0%	119 42.3%	122 43.4%	99 35.2%	56 19.9%	104 37.0%	71 25.3%	22 7.8%	3 1.1%	14 5.0%
	無回答	3 100.0%	1 33.3%	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	20代	53 100.0%	19 35.8%	23 43.4%	16 30.2%	17 32.1%	29 54.7%	12 22.6%	3 5.7%	1 1.9%	0 0.0%
	30代	61 100.0%	29 47.5%	31 50.8%	27 44.3%	13 21.3%	21 34.4%	11 18.0%	3 4.9%	1 1.6%	1 1.6%
	40代	62 100.0%	32 51.6%	28 45.2%	21 33.9%	15 24.2%	25 40.3%	16 25.8%	5 8.1%	2 3.2%	0 0.0%
	50代	134 100.0%	57 42.5%	64 47.8%	51 38.1%	28 20.9%	44 32.8%	34 25.4%	7 5.2%	1 0.7%	5 3.7%
	60歳以上	159 100.0%	66 41.5%	70 44.0%	58 36.5%	33 20.8%	58 36.5%	39 24.5%	19 11.9%	4 2.5%	12 7.5%
	無回答	4 100.0%	1 25.0%	3 75.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
居住地域別	両津	96 100.0%	38 39.6%	44 45.8%	36 37.5%	22 22.9%	39 40.6%	26 27.1%	8 8.3%	2 2.1%	3 3.1%
	相川	56 100.0%	25 44.6%	28 50.0%	27 48.2%	12 21.4%	19 33.9%	12 21.4%	4 7.1%	0 0.0%	4 7.1%
	佐和田	66 100.0%	28 42.4%	31 47.0%	24 36.4%	11 16.7%	19 28.8%	12 18.2%	7 10.6%	2 3.0%	1 1.5%
	金井	47 100.0%	21 44.7%	14 29.8%	13 27.7%	11 23.4%	23 48.9%	15 31.9%	2 4.3%	1 2.1%	4 8.5%
	新徳	27 100.0%	20 74.1%	11 40.7%	10 37.0%	7 25.9%	14 51.9%	8 29.6%	0 0.0%	2 7.4%	0 0.0%
	畑野	48 100.0%	16 33.3%	21 43.8%	17 35.4%	13 27.1%	21 43.8%	9 18.8%	3 6.3%	2 4.2%	2 4.2%
	真野	44 100.0%	22 50.0%	22 50.0%	10 22.7%	8 18.2%	19 43.2%	7 15.9%	7 15.9%	0 0.0%	2 4.5%
	小木	33 100.0%	16 48.5%	17 51.5%	15 45.5%	6 18.2%	9 27.3%	8 24.2%	2 6.1%	0 0.0%	1 3.0%
	羽茂	33 100.0%	10 30.3%	18 54.5%	11 33.3%	7 21.2%	10 30.3%	8 24.2%	3 9.1%	0 0.0%	2 6.1%
	赤泊	20 100.0%	7 35.0%	10 50.0%	10 50.0%	9 45.0%	4 20.0%	7 35.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	1 33.3%	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(2) 多文化共生社会実現のために『日本人住民』が為すべきこと



————— 過半数が、住民自らが「異文化を理解すべき」と回答。 —————

多文化共生社会を実現するために、『日本人住民』がすべきことを聞いた。

【全体結果の要約】

「異文化への理解」への要望が半数を超える。これに「外国人住民への町内会・PTA等の地域情報の提供」が4割台で次ぐ。

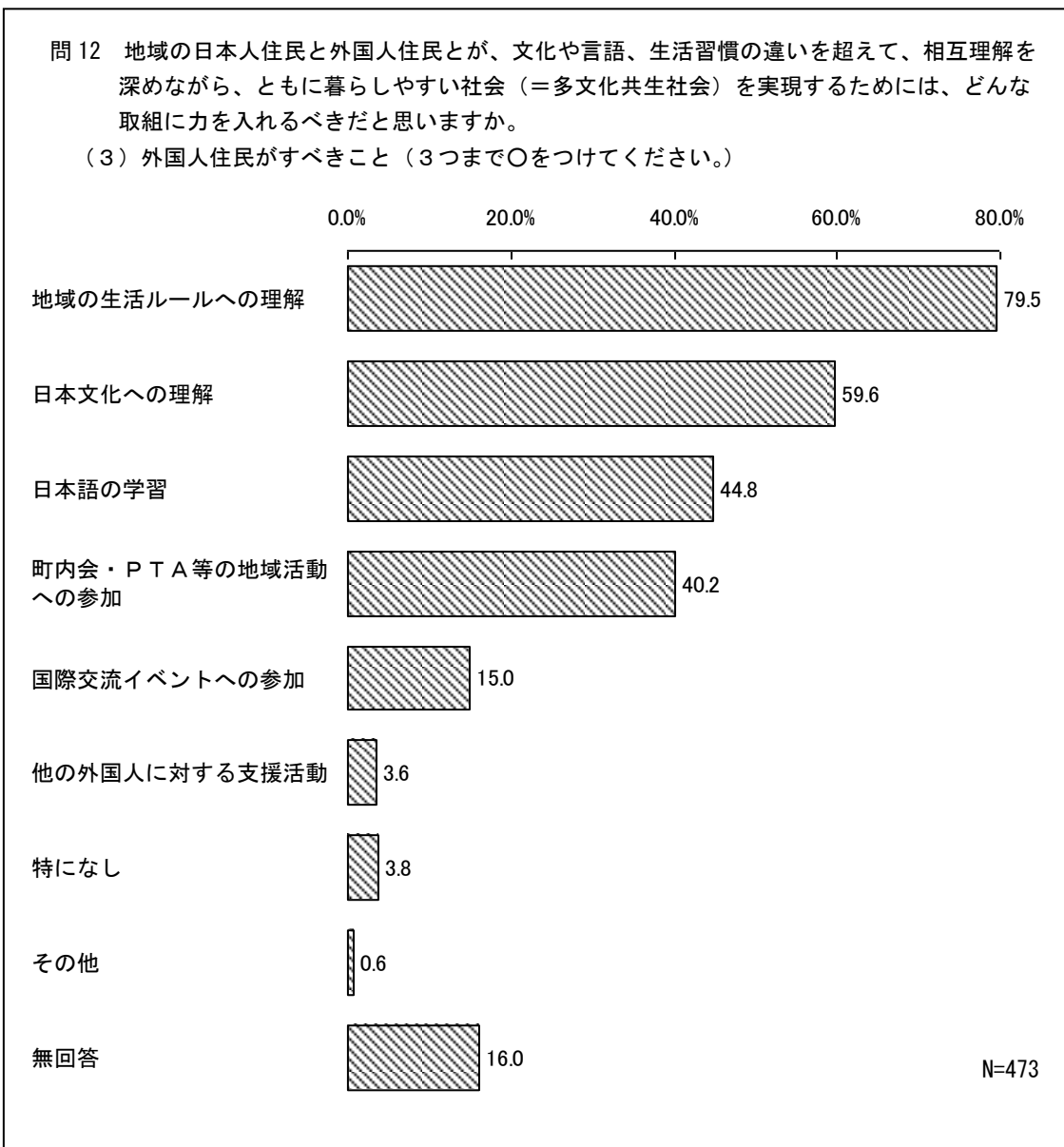
【結果考察】（表 8－2 参照）

「外国人住民への町内会・PTA等の地域情報の提供」の要望率は男性の方が女性よりも高くなっている。

表 8－2 多文化共生社会実現のために『日本人住民』が為すべきこと
（性・年代・居住地域別集計結果）

		合計	外国人住民への町内会・PTA等の地域情報の提供	国際交流イベントへの参加	日本語教育等のボランティア活動	外国語の学習	異文化への理解	外国人住民の相談相手になる	特になし	その他	無回答
【総数】		473 100.0%	208 44.0%	141 29.8%	138 29.2%	102 21.6%	263 55.6%	168 35.5%	31 6.6%	7 1.5%	18 3.8%
性別	男性	189 100.0%	89 47.1%	57 30.2%	51 27.0%	43 22.8%	110 58.2%	72 38.1%	10 5.3%	3 1.6%	6 3.2%
	女性	281 100.0%	116 41.3%	82 29.2%	87 31.0%	58 20.6%	152 54.1%	96 34.2%	21 7.5%	4 1.4%	12 4.3%
	無回答	3 100.0%	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	20代	53 100.0%	17 32.1%	17 32.1%	12 22.6%	24 45.3%	34 64.2%	13 24.5%	2 3.8%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	61 100.0%	28 45.9%	16 26.2%	9 14.8%	11 18.0%	42 68.9%	16 26.2%	4 6.6%	1 1.6%	1 1.6%
	40代	62 100.0%	28 45.2%	21 33.9%	16 25.8%	15 24.2%	40 64.5%	18 29.0%	2 3.2%	1 1.6%	1 1.6%
	50代	134 100.0%	60 44.8%	39 29.1%	47 35.1%	20 14.9%	71 53.0%	56 41.8%	9 6.7%	2 1.5%	5 3.7%
	60歳以上	159 100.0%	71 44.7%	46 28.9%	54 34.0%	31 19.5%	74 46.5%	65 40.9%	14 8.8%	3 1.9%	11 6.9%
	無回答	4 100.0%	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地域別	両津	96 100.0%	45 46.9%	30 31.3%	36 37.5%	18 18.8%	48 50.0%	42 43.8%	4 4.2%	1 1.0%	5 5.2%
	相川	56 100.0%	27 48.2%	13 23.2%	19 33.9%	9 16.1%	31 55.4%	28 50.0%	2 3.6%	1 1.8%	4 7.1%
	佐和田	66 100.0%	27 40.9%	16 24.2%	20 30.3%	15 22.7%	35 53.0%	18 27.3%	5 7.6%	2 3.0%	1 1.5%
	金井	47 100.0%	18 38.3%	16 34.0%	12 25.5%	12 25.5%	26 55.3%	7 14.9%	2 4.3%	0 0.0%	2 4.3%
	新徳	27 100.0%	16 59.3%	8 29.6%	9 33.3%	4 14.8%	17 63.0%	13 48.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%
	畑野	48 100.0%	19 39.6%	17 35.4%	11 22.9%	12 25.0%	30 62.5%	18 37.5%	3 6.3%	2 4.2%	1 2.1%
	真野	44 100.0%	15 34.1%	17 38.6%	14 31.8%	11 25.0%	26 59.1%	14 31.8%	7 15.9%	0 0.0%	2 4.5%
	小木	33 100.0%	16 48.5%	9 27.3%	9 27.3%	9 24.2%	17 51.5%	11 33.3%	2 6.1%	0 0.0%	1 3.0%
	羽茂	33 100.0%	14 42.4%	9 27.3%	4 12.1%	7 21.2%	18 54.5%	9 27.3%	5 15.2%	0 0.0%	1 3.0%
	赤泊	20 100.0%	8 40.0%	4 20.0%	4 20.0%	5 25.0%	14 70.0%	8 40.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(3) 多文化共生社会実現のために『外国人住民』がすべきこと



— 外国人住民には、まずは「地域ルールを理解」してもらうことが第一。 —

多文化共生社会を実現するために、『外国人住民』がすべきことを聞いた。

【全体結果の要約】

8割の多数が「地域の生活ルールへの理解」を要望した。「日本文化への理解」も6割ある。特に「地域の生活ルールへの理解」の要望率は、前出『市』や『日本人住民』であがった結果と比較しても抜き出て高い値となっている。

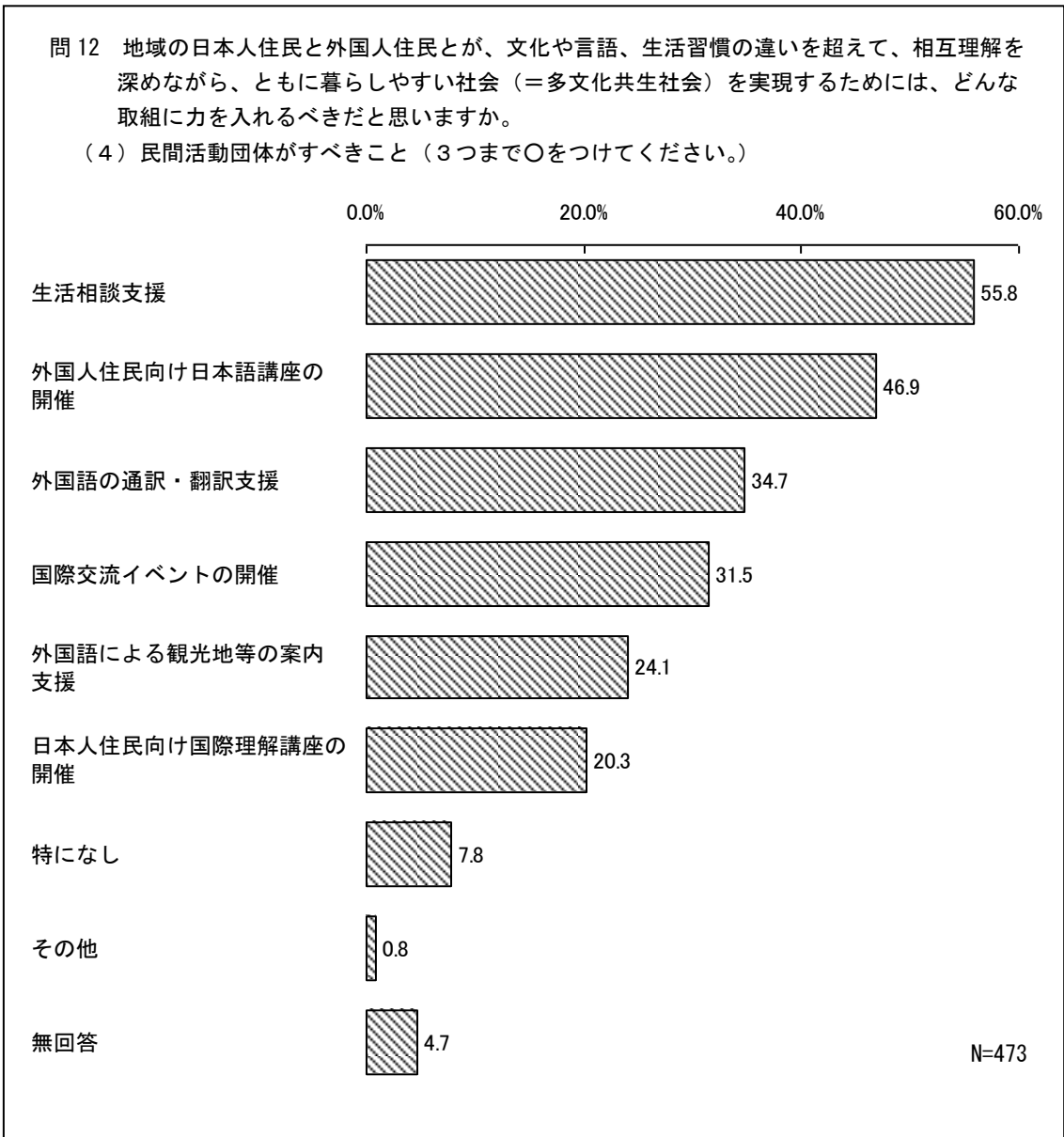
【結果考察】（表 8－3 参照）

「町内会・PTA等の地域活動への参加」や「日本文化への理解」の要望率は男性の方が女性よりも高くなっている。

表 8－3 多文化共生社会実現のために『外国人住民』が為すべきこと
（性・年代・居住地域別集計結果）

		合計	地域の生活ルールへの理解	町内会・PTA等の地域活動への参加	国際交流イベントへの参加	日本語の学習	日本文化への理解	他の外国人に対する支援活動	特になし	その他	無回答
【総数】		473 100.0%	376 79.5%	190 40.2%	71 15.0%	212 44.8%	282 59.6%	17 3.6%	18 3.8%	3 0.6%	16 3.4%
性別	男性	189 100.0%	147 77.8%	84 44.4%	27 14.3%	85 45.0%	121 64.0%	8 4.2%	7 3.7%	2 1.1%	6 3.2%
	女性	281 100.0%	227 80.8%	104 37.0%	43 15.3%	126 44.8%	161 57.3%	9 3.2%	11 3.9%	1 0.4%	10 3.6%
	無回答	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	20代	53 100.0%	41 77.4%	14 26.4%	7 13.2%	30 56.6%	35 66.0%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	61 100.0%	51 83.6%	20 32.8%	9 14.8%	22 36.1%	38 62.3%	2 3.3%	2 3.3%	0 0.0%	1 1.6%
	40代	62 100.0%	56 90.3%	22 35.5%	9 14.5%	32 51.6%	36 58.1%	4 6.5%	1 1.6%	1 1.6%	1 1.6%
	50代	134 100.0%	103 76.9%	61 45.5%	18 13.4%	64 47.8%	73 54.5%	8 6.0%	5 3.7%	0 0.0%	4 3.0%
	60歳以上	159 100.0%	122 76.7%	70 44.0%	27 17.0%	63 39.6%	99 62.3%	2 1.3%	9 5.7%	2 1.3%	10 6.3%
	無回答	4 100.0%	3 75.0%	3 75.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地域別	両津	96 100.0%	74 77.1%	39 40.6%	15 15.6%	49 51.0%	51 53.1%	6 6.3%	2 2.1%	1 1.0%	4 4.2%
	相川	56 100.0%	43 76.8%	20 35.7%	9 16.1%	24 42.9%	36 64.3%	0 0.0%	2 3.6%	0 0.0%	3 5.4%
	佐和田	66 100.0%	51 77.3%	24 36.4%	6 9.1%	26 39.4%	35 53.0%	3 4.5%	4 6.1%	2 3.0%	2 3.0%
	金井	47 100.0%	35 74.5%	22 46.8%	11 23.4%	19 40.4%	24 51.1%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	2 4.3%
	新徳	27 100.0%	27 100.0%	15 55.6%	3 11.1%	10 37.0%	23 85.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	畑野	48 100.0%	38 79.2%	23 47.9%	8 16.7%	23 47.9%	28 58.3%	3 6.3%	2 4.2%	0 0.0%	2 4.2%
	真野	44 100.0%	33 75.0%	15 34.1%	6 13.6%	23 52.3%	26 59.1%	1 2.3%	4 9.1%	0 0.0%	1 2.3%
	小木	33 100.0%	29 87.9%	15 45.5%	5 15.2%	13 39.4%	19 57.6%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%
	羽茂	33 100.0%	28 84.8%	9 27.3%	5 15.2%	15 45.5%	22 66.7%	1 3.0%	2 6.1%	0 0.0%	1 3.0%
	赤泊	20 100.0%	16 80.0%	6 30.0%	2 10.0%	9 45.0%	18 90.0%	2 10.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(4) 多文化共生社会実現のために『民間活動団体』が為すべきこと



「生活支援相談」や「日本語講座の開催」への要望が多い。

多文化共生社会を実現するために、『民間活動団体』がすべきことを聞いた。

【全体結果の要約】

「生活相談支援」への要望が半数を超える。これに「外国人住民向け日本語講座の開催」が4割台で次ぐ。

【結果考察】（表 8－4 参照）

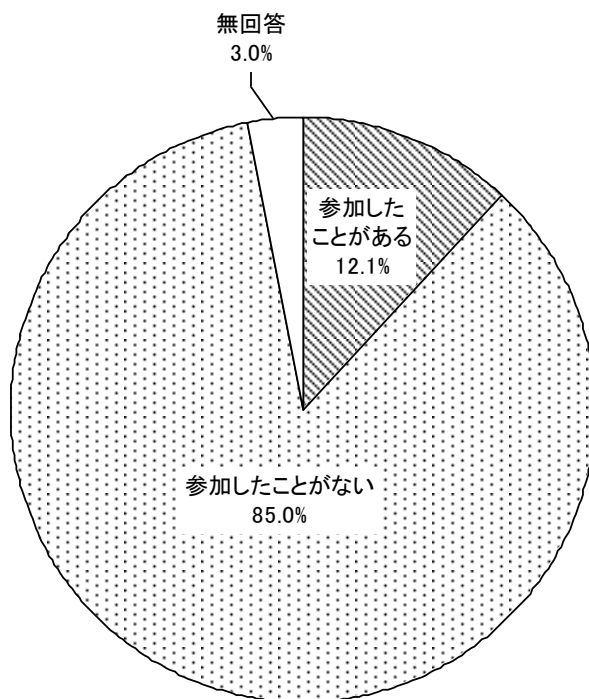
全体結果で上位にあがった「生活相談支援」と「外国人住民向け日本語講座の開催」とも、要望率は男性の方が女性よりも高くなっている。

表 8－4 多文化共生社会実現のために『民間活動団体』が為すべきこと
（性・年代・居住地域別集計結果）

		合計	外国人住民向け日本語講座の開催	日本人住民向け国際理解講座の開催	国際交流イベントの開催	生活相談支援	外国語の通訳・翻訳支援	外国語による観光地等の案内支援	特になし	その他	無回答
【総数】		473 100.0%	222 46.9%	96 20.3%	149 31.5%	264 55.8%	164 34.7%	114 24.1%	37 7.8%	4 0.8%	22 4.7%
性別	男性	189 100.0%	97 51.3%	40 21.2%	63 33.3%	112 59.3%	61 32.3%	49 25.9%	14 7.4%	2 1.1%	5 2.6%
	女性	281 100.0%	125 44.5%	56 19.9%	85 30.2%	150 53.4%	102 36.3%	63 22.4%	23 8.2%	2 0.7%	17 6.0%
	無回答	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	20代	53 100.0%	21 39.6%	11 20.8%	17 32.1%	27 50.9%	24 45.3%	14 26.4%	3 5.7%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	61 100.0%	25 41.0%	9 14.8%	21 34.4%	31 50.8%	24 39.3%	19 31.1%	3 4.9%	0 0.0%	2 3.3%
	40代	62 100.0%	30 48.4%	14 22.6%	24 38.7%	37 59.7%	29 46.8%	10 16.1%	4 6.5%	2 3.2%	0 0.0%
	50代	134 100.0%	64 47.8%	24 17.9%	40 29.9%	78 58.2%	37 27.6%	34 25.4%	11 8.2%	1 0.7%	6 4.5%
	60歳以上	159 100.0%	82 51.6%	38 23.9%	45 28.3%	88 55.3%	49 30.8%	35 22.0%	16 10.1%	1 0.6%	14 8.8%
	無回答	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	3 75.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地域別	両津	96 100.0%	45 46.9%	16 16.7%	31 32.3%	54 56.3%	30 31.3%	20 20.8%	6 6.3%	1 1.0%	7 7.3%
	相川	56 100.0%	30 53.6%	16 28.6%	13 23.2%	31 55.4%	21 37.5%	14 25.0%	4 7.1%	0 0.0%	3 5.4%
	佐和田	66 100.0%	30 45.5%	6 9.1%	21 31.8%	33 50.0%	22 33.3%	16 24.2%	8 12.1%	2 3.0%	3 4.5%
	金井	47 100.0%	22 46.8%	11 23.4%	21 44.7%	22 46.8%	13 27.7%	10 21.3%	3 6.4%	0 0.0%	2 4.3%
	新穂	27 100.0%	18 66.7%	10 37.0%	5 18.5%	22 81.5%	11 40.7%	5 18.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	畑野	48 100.0%	23 47.9%	12 25.0%	17 35.4%	27 56.3%	15 31.3%	15 31.3%	4 8.3%	0 0.0%	1 2.1%
	真野	44 100.0%	14 31.8%	10 22.7%	16 36.4%	21 47.7%	17 38.6%	11 25.0%	7 15.9%	1 2.3%	3 6.8%
	小木	33 100.0%	17 51.5%	4 12.1%	10 30.3%	19 57.6%	12 36.4%	10 30.3%	2 6.1%	0 0.0%	2 6.1%
	羽茂	33 100.0%	13 39.4%	5 15.2%	9 27.3%	18 54.5%	14 42.4%	8 24.2%	2 6.1%	0 0.0%	1 3.0%
	赤泊	20 100.0%	10 50.0%	6 30.0%	5 25.0%	15 75.0%	8 40.0%	3 15.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

8 国際交流活動への参加について〈参加経験〉

問 13 あなたは、これまで何らかの国際交流活動に参加したことがありますか。
(いずれかに○を付けてください。)



N=473

国際交流活動への参加経験率は1割強。

種別を問わず、国際交流活動への参加経験について聞いた。

【全体結果の要約】

「参加したことがある」と回答した経験者は1割強である。大多数は未経験者である。

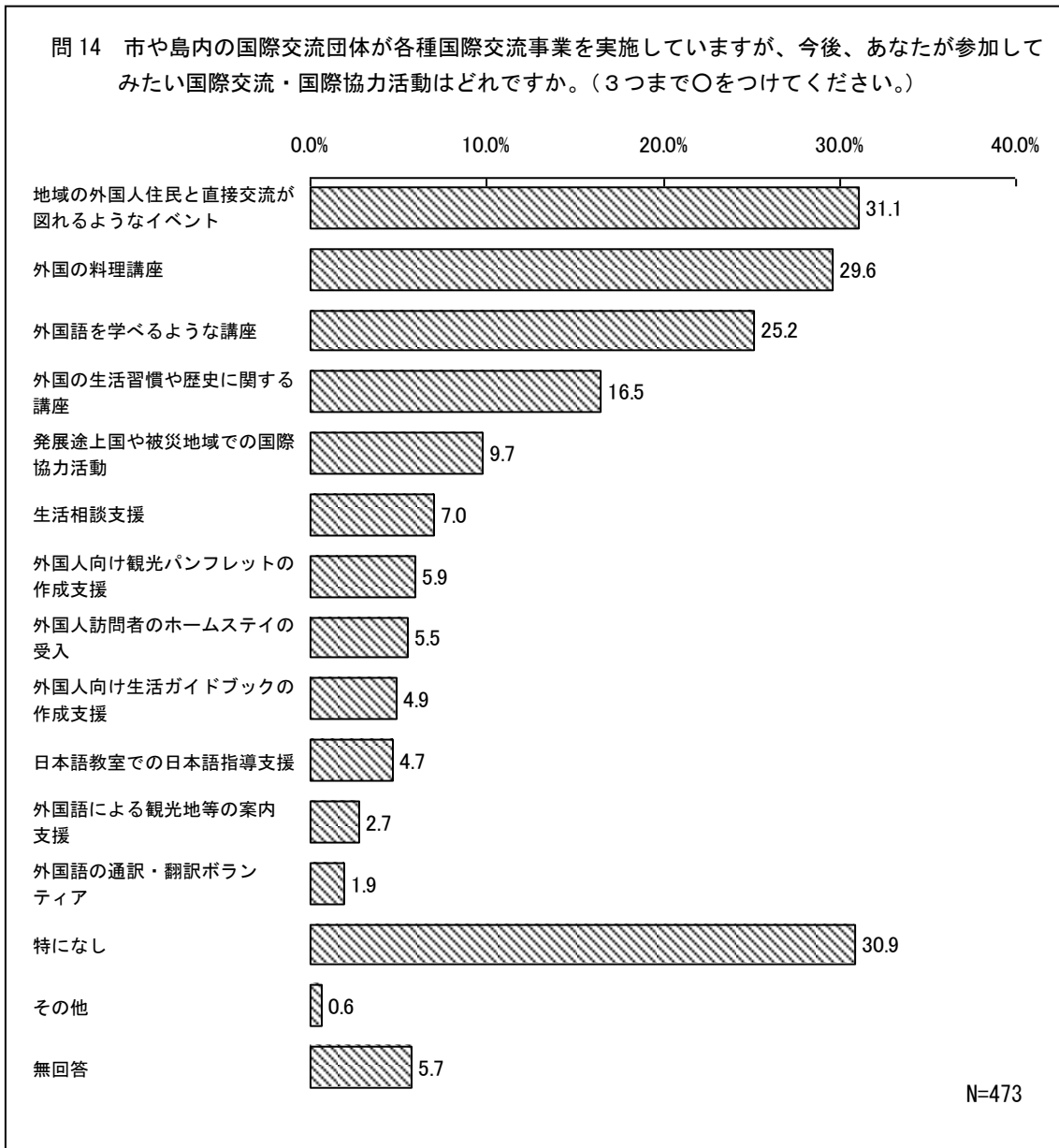
【結果考察】（表 9 参照）

経験者の比率は、男性の方が女性よりも高い。

表 9 国際交流活動への参加について＜参加経験＞（性・年代・居住地域別集計結果）

		合計	参加した ことがある	参加した ことがない	無回答
【総 数】		473 100.0%	57 12.1%	402 85.0%	14 3.0%
性別	男性	189 100.0%	29 15.3%	154 81.5%	6 3.2%
	女性	281 100.0%	28 10.0%	245 87.2%	8 2.8%
	無回答	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
年代別	20代	53 100.0%	6 11.3%	47 88.7%	0 0.0%
	30代	61 100.0%	9 14.8%	51 83.6%	1 1.6%
	40代	62 100.0%	10 16.1%	51 82.3%	1 1.6%
	50代	134 100.0%	16 11.9%	114 85.1%	4 3.0%
	60歳以上	159 100.0%	16 10.1%	135 84.9%	8 5.0%
	無回答	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%
居住地域別	両津	96 100.0%	12 12.5%	81 84.4%	3 3.1%
	相川	56 100.0%	7 12.5%	47 83.9%	2 3.6%
	佐和田	66 100.0%	12 18.2%	52 78.8%	2 3.0%
	金井	47 100.0%	7 14.9%	38 80.9%	2 4.3%
	新穂	27 100.0%	0 0.0%	27 100.0%	0 0.0%
	畑野	48 100.0%	4 8.3%	43 89.6%	1 2.1%
	真野	44 100.0%	4 9.1%	39 88.6%	1 2.3%
	小木	33 100.0%	3 9.1%	28 84.8%	2 6.1%
	羽茂	33 100.0%	4 12.1%	28 84.8%	1 3.0%
	赤泊	20 100.0%	4 20.0%	16 80.0%	0 0.0%
	無回答	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%

9 参加してみたい国際交流活動について〈今後の参加意向〉



— 「地域外国人との交流イベント」や「外国料理講座」への意向が多い。 —

今後、参加してみたいと思う国際交流・国際協力活動について聞いた。

【全体結果の要約】

前問で活動未経験率が8割を超える状況下で、「地域の外国人住民と直接交流が図れるようなイベント」や「外国の料理講座」への意向率が3割前後ある。「外国語を学べるような講座」の意向者も4人に1人程度いる。

一方で、「特になし」とする人も約3割いることに留意したい。

【結果考察】（表 10 参照）

「地域の外国人住民と直接交流が図れるようなイベント」の比率に性差はみられない。
 「外国の生活習慣や歴史に関する講座」を意向する人の比率は、男性の方が女性よりも高く、「外国の料理講座」の比率は、女性の方がかなり高い。

表 10 参加してみたい国際交流活動について＜今後の参加意向＞
 （性・年代・居住地域別集計結果）

	合計	地域の外国人住民と直接交流が図れるようなイベント	外国の生活習慣や歴史に関する講座	外国語を学べるような講座	外国の料理講座	外国語による観光地等の案内支援	外国人向け観光パンフレットの作成支援	日本語教室での日本語指導支援	外国語の通訳・翻訳ボランティア	外国人訪問者のホームステイの作成支援	外国人向け生活ガイドブックの作成支援	生活相談支援	発展途上国や被災地域での国際協力活動	特になし	その他	無回答	
【総数】	473 100.0%	147 31.1%	78 16.5%	119 25.2%	140 29.6%	13 2.7%	28 5.9%	22 4.7%	9 1.9%	26 5.5%	23 4.9%	33 7.0%	46 9.7%	146 30.9%	3 0.6%	27 5.7%	
性別	男性	189 100.0%	58 30.7%	37 19.6%	53 28.0%	39 20.6%	5 2.6%	13 6.9%	8 4.2%	4 2.1%	12 6.3%	8 4.2%	14 7.4%	27 14.3%	59 31.2%	1 0.5%	11 5.8%
	女性	281 100.0%	88 31.3%	40 14.2%	66 23.5%	99 35.2%	8 2.8%	15 5.3%	14 5.0%	5 1.8%	14 5.0%	15 5.3%	19 6.8%	19 6.8%	86 30.6%	2 0.7%	16 5.7%
	無回答	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	20代	53 100.0%	23 43.4%	6 11.3%	19 35.8%	20 37.7%	1 1.9%	5 9.4%	2 3.8%	2 3.8%	5 9.4%	5 9.4%	0 0.0%	11 20.8%	10 18.9%	0 0.0%	2 3.8%
	30代	61 100.0%	14 23.0%	10 16.4%	17 27.9%	24 39.3%	1 1.6%	3 4.9%	2 3.3%	1 1.6%	3 4.9%	3 4.9%	4 6.6%	8 13.1%	8 31.1%	0 0.0%	1 1.6%
	40代	62 100.0%	23 37.1%	11 17.7%	19 30.6%	24 38.7%	1 1.6%	6 9.7%	1 1.6%	3 4.8%	2 3.2%	5 8.1%	2 3.2%	5 8.1%	16 25.8%	0 0.0%	2 3.2%
	50代	134 100.0%	36 26.9%	21 15.7%	29 21.6%	36 26.9%	5 3.7%	5 3.7%	11 8.2%	5 0.0%	5 3.7%	5 3.7%	11 8.2%	10 7.5%	47 35.1%	1 0.7%	8 6.0%
	60歳以上	159 100.0%	50 31.4%	28 17.6%	35 22.0%	33 20.8%	3 3.1%	9 5.7%	6 3.8%	3 1.9%	3 7.5%	5 3.1%	16 10.1%	12 7.5%	53 33.3%	2 1.3%	14 8.8%
	無回答	4 100.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地域別	両津	96 100.0%	31 32.3%	15 15.6%	22 22.9%	29 30.2%	3 3.1%	9 9.4%	5 5.2%	0 0.0%	4 4.2%	5 5.2%	5 5.2%	6 6.3%	26 27.1%	1 1.0%	7 7.3%
	相川	56 100.0%	22 39.3%	8 14.3%	20 35.7%	16 28.6%	1 1.8%	3 5.4%	2 3.6%	1 1.8%	3 5.4%	3 5.4%	5 8.9%	5 8.9%	16 28.6%	0 0.0%	4 7.1%
	佐和田	66 100.0%	18 27.3%	12 18.2%	17 25.8%	20 30.3%	2 3.0%	1 1.5%	1 1.5%	3 4.5%	0 0.0%	2 3.0%	6 9.1%	5 7.6%	24 36.4%	1 1.5%	3 4.5%
	金井	47 100.0%	15 31.9%	7 14.9%	8 17.0%	19 40.4%	0 0.0%	3 6.4%	1 2.1%	1 2.1%	4 8.5%	3 6.4%	2 4.3%	6 12.8%	13 27.7%	1 2.1%	1 2.1%
	新穂	27 100.0%	7 25.9%	3 11.1%	9 33.3%	5 18.5%	0 0.0%	2 7.4%	3 11.1%	0 0.0%	3 11.1%	3 11.1%	3 11.1%	5 18.5%	7 25.9%	0 0.0%	1 3.7%
	畑野	48 100.0%	17 35.4%	9 18.8%	12 25.0%	13 27.1%	3 6.3%	3 6.3%	4 8.3%	3 6.3%	4 8.3%	2 4.2%	5 10.4%	8 16.7%	11 22.9%	0 0.0%	3 6.3%
	真野	44 100.0%	14 31.8%	8 18.2%	13 29.5%	10 22.7%	1 2.3%	3 6.8%	2 4.5%	1 2.3%	3 6.8%	1 2.3%	3 6.8%	3 6.8%	19 43.2%	0 0.0%	2 4.5%
	小木	33 100.0%	10 30.3%	5 15.2%	10 30.3%	9 27.3%	2 6.1%	3 9.1%	3 9.1%	0 0.0%	0 3.0%	1 3.0%	2 6.1%	2 12.1%	8 24.2%	0 0.0%	3 9.1%
	羽茂	33 100.0%	8 24.2%	6 18.2%	5 15.2%	9 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.1%	2 6.1%	1 3.0%	2 6.1%	16 48.5%	0 0.0%	1 3.0%
	赤泊	20 100.0%	4 20.0%	4 20.0%	3 15.0%	8 40.0%	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%	2 10.0%	1 5.0%	1 5.0%	2 10.0%	5 25.0%	0 0.0%	2 10.0%
	無回答	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%

※特記事項

なお、活動への参加・協力を希望する方に対しては、住所及び氏名を伺い、別途佐渡市から案内文書を送付する旨を調査票に記載した。結果、多数の記入が寄せられた。

しかし、「財団法人新潟県国際交流協会個人情報保護規程」及び「佐渡市個人情報保護条例」に基づく個人情報保護の観点から、記入数を含めた一切の本報告書への記述は秘した。

10 自由意見について〈佐渡市の国際化に関する意見や要望〉

問 15 その他、佐渡市の国際化について、意見や要望があれば、自由に記入してください。

佐渡市の国際化について多数の意見が寄せられている。その中の代表的な意見や要望を抜粋し、下記に掲載した。

- | | |
|----|---|
| 1) | 以前ALTの英会話クラスに少し参加させていただきました。英語とは無縁の生活を50年以上生きてきましたが、外国へ出る機会があり、清水の舞台から飛び降りる思いでアジアに出かけました。親切にしてもらえまし、外国の方は英語の会話が誰でもできるように思いました。そしてALTの英会話クラスに行きました。彼は日本語がよくでき、「わからない私」にも楽しく教えようと努力してくれました。各学校の小学生や中学生にも同じように心から接しているように思われました。私はもうかなり駄目ですが、これからの佐渡の子供たちの会話能力を高めるよう、環境を整えていただきたいと思います。外に出ると、日本（佐渡）の良い所がたくさん見つかりました。 |
| 2) | 佐渡に在住している外国人が500人もいることにビックリしましたが、昨年の春、1年間の約束でオーストラリアへ行った私の子どもは、現地で色んな人と出会い、支えられて生活していると思うと、佐渡の伝統や文化を守り、自然体で国際化し、来島した人が来て良かった、と思えるよう佐渡の内面を充実させて、佐渡のイメージが良いものであって欲しいと思います。今、佐渡のトキの話題がテレビや新聞などで報道されていますが、限りない空を自由に羽ばたいて他県に行ったトキは他県にまかせ、佐渡にいるトキは温かい気持ちで見守ってあげたいです。外国人ばかりでなく、佐渡へ来た者に対して、広く温かい心で接する一島民でありたいです。 |
| 3) | 外国人住民が増えることは悪いことではないが、地域住民との間に問題もたくさん起きています。その上でただ単に増えることが望ましいとは言いがたいと思います。 |
| 4) | 国際化になり、観光客が増えて、佐渡が活性化するのは良い事ですが、市民に理解を求める事がまず先だと思えます。佐渡は老人が多い。そこへ外国の人が急に入ってきて、難しいと思えます。 |
| 5) | 国際化についてではないが、国際化の前に国内、島内の人に、佐渡って素晴らしい、と思われるような魅力がないような気がする。宿泊施設にしても、設備は整っていても佐渡の新鮮な食材を生かした美味しいと思われる料理が出てこない。何かが足りないような気がします。そういうところから生き生きとしたものにしていかないと、何かをやっても取り止めになってしまうような気がします。 |
| 6) | 無理をして国際化などする必要があるのでしょか。佐渡の自然を大切に保存して、未来に残していく方がもっと大切な気がします。少し散歩してみると、田畑、山も随分荒れています。そちらの方を整備することの方が、人が住む環境を整えて住みやすくする事の方が大切だと思えます。 |

7)	佐渡の自然、文化、人間性等を理解していただき、お互いに協力してより住みよい島にして欲しい。
8)	島民が改めて佐渡の良さ、魅力を再認識し、佐渡を知る事で心から素直に誇れるようになることが必要だと思う。それから島民の人間性について、優しいけれど内気、消極的なところがあると思う。これは自分自身についても言えることだが、これではダメだと思う。「優しさ」という人としての最大の美点を生かした上で、もっと積極的に人と関わろうというような意識改革が必要だと思う。
9)	どういう活動を行っているか全く知りません。もっと島民に分かりやすく、興味をひくような活動をして欲しい。どんな人でも気軽に参加できるものにしてもらいたい。
10)	外国の方達が生活するのに、もっと大型店などは外国語の案内板があれば良いかと思う（レジ案内、商品、おおまかなもの）。
11)	1度にたくさんの外国人を案内するのではなく、一人一人の顔が見られる状態で地元に来てほしい。地元の中でも外国人に対して交流を持とうとする人と、そうでない人がいるので、行政の人がもっと自分の足を使って1つ1つの地元を知るべき。
12)	正直、外国人が多くなるのは不安。一長一短あるとは思うが、前に進むためにはやはり間口を広げるべき。活動に参加してはみたいが、今のところはあまりできる状況にない。
13)	佐渡の外国人に対する住みやすいとさせる環境作りをより頑張ってください。
14)	民族や人種に関係なく、ある地域に住む人はみんな協力し合い、より良い地域を作っていく必要があります。佐渡人などと言う狭い考えではなく、地球人という意識を持ちたいものです。
15)	佐渡に永住している外国人のネットワーク作りが必要だと思います。出身国別（言語共通）。困った時、お互いに助け合える心のよりどころとなる場所、コーディネーターが必要です。一方、旅館側（おかみの会）では、外人宿泊客の対応に窮した時に、電話で問題解決（言語通訳）ができる仕組み作りを求めています。
16)	観光の活性化のためにも、国際化は必要だと思います。
17)	正直な所、何をすれば何かの役に立つのか、自分が何をどこまでできるのか、さっぱり分かりません。興味はありますが、知識はありません。でも、受け入れる側も受け入れてもらう側も、分かり合おうとしなければいけないと思います。
18)	私は会社の中で外国の方で日本語ができる人と友達になっています。こわがらずにお付き合いをすれば良いのではと感じています。
19)	佐渡に多くの外国人観光客が来てくれることはいいことだと思います。現在 500 人の外国人が佐渡に在住しているそうですが、佐渡の人口がどんどん減少していく中で、500 人という数字は大きいものがあると思う。どういう人がどこに住んでいるのかほとんど分からないので、広報などで地域別の人数など教えてもらえないでしょうか。また紹介コーナーなどがあってもいいと思う。外国へ行くと、日本の良さが改めて分かるとうよく言われるように、外国の人を通して佐渡の良さを再認識できるような国際化であって欲しい。

20)	外国人との交流を深めたい反面、基地の町沖縄が同じ離島であり、犯罪の被害者が多い話も報道され、一概に国際化を進めるのに賛成できかねます。かといって島国であり、他から取り残され、活性化もできず、過疎、限界集落を食い止め、若者の流出（若者の就職にも繋がる）阻止の方が先決ではないかと思えます。若者が住める魅力ある島（就職にも繋がる）に持って行き、活性化を進め、国際化に持って行ってもらいたいものです。
21)	背伸びをし、安易に国際化の名の下に交流をする理由はない。近年は、研修の名の下に国はもとより、佐渡にも多く外国人が在住されているが、いずれ私が目にしたヨーロッパの先進国と同様な光景となる気がする。外国も宣伝のない田舎が楽しい所が多い。
22)	色々な外国の方達と一緒に生活出来る事は、これから大事な事だと思います。しかし市民の方を含めて、犯罪の事も少し心配です。この平和な市民生活がいつまでも続きますように。
23)	佐渡を活性化しうる産業としては、農林業、漁業、そして観光くらいしか考えられない。そこで農林業とタイアップして、今、市ではエコアイランドとして力を入れているのだから、エコに関わるあらゆる事が佐渡へ来れば見学、実習、研修できるようにして、島外から人を呼んではどうか。観光業では地産地消でアイデアを生かした料理を売り物にして、佐渡でしか食べられない物をどんどん開発していったら、また外国人にはホームステイの場を提供して利用してもらったらどうか。とにかく佐渡への人の交流が多くなるような施策を工夫していく事しかないのでは。
24)	世界を旅した日本人が、佐渡は素晴らしいと褒めているのをよく聞きます。佐渡に住んでいる人は当たり前のように思う色々な暮らしや自然空間、自然の恵みをとっても良いと思う人がいることが、必ず国際化に繋がると思えます。日本中から世界から来ていただくためには、営業やPR活動が必要です。
25)	市広報誌に時折で良いが、外国人居住者に関する事柄を記して欲しい（どんな事でも良い）。
26)	観光施設やお土産販売店などで、従業員がもっと観光客に対して積極的にアピールした方が良い。もっと佐渡の魅力を国内外にアピール（CM、インターネットなどを通して）した方が良い。
27)	私は学生時代に多くの外国人と交流してきました。外国人と関わる上で、自分自身の語学力の向上や文化や習慣の違いを知り、視野を広げるメリットがある反面、言葉の壁による意思の疎通の難しさ、習慣や考え方の違いによるトラブルなどのデメリットがあります。メリット、デメリットを考えた上で、私達市民に何が求められているのかを考えて対応できれば、国際化によるトラブルや摩擦を防ぐことができるはずです。
28)	日本人でも生活が乱れている世の中、そこへ外国人が入って生活するのにこわさを感じます。同じ日本人同士でも付き合いが難しいのに、まして外国人が加わるというのは不安です。
29)	国際化も大切だが、佐渡島民（日本人）が島外へ流出しないよう、魅力ある島作りが先だと考えます。外国人の受入よりも、島外へ流出している島民の受入を！
30)	お互いの文化を理解して、事件などがなく楽しい国際交流などをしてもらいたい。
31)	佐渡市は高齢化率が高く、高齢者が多いので、外国人に対する受け入れは気持ち的には人情深いので問題ないと思えますが、外国人との対応についてはまず言語の問題からどのように順応していくかなど、若い人達と異なり、難しい問題と思う。サポート体制が必要と思う。

32)	外国人住民との交流企画は、講座でもイベントでも小さくても回を重ねて、できるだけ幅広い佐渡市民に参加してもらうことが大切だと思います。いつも同じ人しか来ない、というのではなく、声を掛け合って参加するように。お互いに「外国人」という意識を持たなくなるまで考え方が変わらなければ、国際的とは言えません。時間をかけて草の根で進めることだと思います。
33)	交流の1番の障害は、言葉が通じない点だと思います。佐渡の住民は心優しい人々ですので、この壁さえなければ何の差別もなく交流できると思います。自分はじめ高齢化した今、外国語を学ぶ元気は少ない。やはり外国人の方々に努力していただき、日本に住むからには日本語を学んで欲しい。その援助をしていただきたい。
34)	料理講座はやってみるといいと思う。昔は都内の区のインドネシア講座に参加したことがあるが、言葉の講座+生活習慣+料理教室と、その国の文化を10回弱で教えてもらいました。さらに佐渡の場合、佐渡の楽しみ方（キャンプ、ビーチコーミング、寺巡りなど、佐渡の人より詳しい人になりますよ）をその人たちなりのものを教えてもらうことは、佐渡の人たちにとっての発見、佐渡を他の人と楽しむこと、紹介することにつながると思います。佐渡人はそのままだが魅力的。
35)	市民だけでは国際化について何もできないと思いますので、政府の方が力を入れて取り組んでいただきたいと思います。
36)	島の若い人達、あるいは島の将来を考えた時、佐渡はもっと積極的に国際化を進めるべきである。市役所に国際交流課などを置いて、行政が先頭に立って運動を進めなければならないのではないのか。
37)	外国人が増えることで、外国人との交流の機会が増え、生活習慣や文化を知ることが出来る事は良い事ですが、外国人による犯罪が多発している近年、治安の悪化が心配です。
38)	佐渡にも観光客が増えれば、佐渡市の景気も良くなるので、外国にもアピールするのは良い事だと思うが、外国人、日本人に関わらず「また来たい」と思ってもらえるように、島内をきれいにしたり、施設を整えたり、観光地での接客マナーを改善することも大切だと思う。今の佐渡は一度来れば十分とってしまうところだ。わざわざ海外から来たいとは思わないと思う。
39)	過疎化が進む中で、国際化による人口増加や労働力の補填が期待される面もあるが、異文化によるトラブル、治安の悪化といった懸念もあり、そうした兼ね合いをいかにとっていくかが重要だと思う。
40)	外国からの方が佐渡に住み、言葉の壁で悩んでいても相談する所、人が近くにいない方がいた。私も力になりたかったが、片言の英語では相談相手にもなれず、いつも気の毒に思っていた。外国の方が気軽に相談に行ける場所があると良いと思うし、また私自身も外国語を学ぶ機会が必要と感じた（時間に余裕なく続けられなかったが）。小学生のうちから、あるいはもっと幼少から英語に慣れる機会をたくさん作れたら理想だと思います。行政の窓口にもスムーズに対応できる人材を配置した方が良い。外国からの観光客は、贅沢な施設より歴史的建造物や美しい自然を求めている方が多いようです。さびれて手入れの行き届かない「佐渡100選」とある寺を見てガッカリしたことがあります。もっと手入の支援はできないものですか？

41)	嫁不足が深刻になっています（長男の嫁）。島内にも独身者は多数います。今の若者は結婚を嫌がっています。外国人と結婚しても、数年後には離婚をし、国に帰るみたいですが、佐渡に定着していただける人たちはいないのでしょうか。
42)	国際化については自然に住民などが増えることが良いと思います。日本人であろうと外国人であろうと、その場に住むのであればそのルールを守ることが大切だと感じます。佐渡は古くからのものが色々と残っている素晴らしい島です。国際化を考えるばかりに大切なものを無くさないように、行政も動いて欲しいと思います。
43)	外国の方に佐渡を知ってもらうのは良いと思いますが、それよりも日本人の観光客を増やせるような案を考える方が良いのではないのでしょうか。
44)	エアポートの拡大、充実化を目指すべきだと思います。
45)	佐渡で働く外国人はこれからも増えてくると思います。外国人が安心して暮らしていけるように、日本語教室は必ず必要だと思います。日本語だけではなく、日本料理講座や文化。

(付) 調査白票

佐渡市にお住まいの皆さまへ

～あなたの声をお聞かせください～



調査のお願い

日頃より、市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

佐渡市内在住の外国人登録者は近年増加傾向にあり、平成 7 年の国勢調査での外国人登録者数は 182 名であったものが、平成 17 年の国勢調査では 511 人と約 2.8 倍に増加しており、佐渡市内在住の外国人登録者数の人口割合は、0.75%を占めています。

また、平成 10 年の外国人観光旅客の年間来訪者数は、年間 1,281 人であったものが、平成 20 年は年間 3,550 人と約 2.8 倍に増加しており、佐渡市においてもグローバル化の波が押し寄せているといえます。

今回のアンケート調査では、外国人住民や外国人観光客の受け入れなどについて、市民皆様のご意見をお聞きし、佐渡の国際化に対応するための施策に役立てたいと考えています。

つきましては、ご多忙のところお手数をおかけしますが、本調査の趣旨を十分ご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

※ 本調査は、(財)新潟県国際交流協会の委託を受け、佐渡市が、佐渡市内に住所を有している 20 歳以上（平成 21 年 2 月 1 日現在）の方を対象に実施するものです。

ご記入に当たってのお願い

- 回答の方法は、あてはまる答えに○印をつけてください。○印で答えられない質問には、() の中に具体的にご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、3月15日(日)までに、同封の封筒に入れて送り返してください。

【問合せ先】

佐渡市 企画財政部 企画振興課 離島振興係 担当 齋藤

〒952-1292

佐渡市千種 2 3 2 番地

電話 0 2 5 9 - 6 3 - 4 1 5 2 FAX 0 2 5 9 - 6 3 - 5 1 2 5

E-mail: k-kikaku@city.sado.niigata.jp

【あなた自身のことについて】

問1 性別について（いずれかに○を付けてください。）

- 1 男性 2 女性

問2 年齢について（いずれかに○をつけてください。）

- 1 20代 2 30代 3 40代 4 50代 5 60歳以上

問3 職業について（いずれかに○をつけてください。）

- 1 自営業 2 団体職員 3 会社員 4 公務員・教職員 5 会社役員
6 専業主婦・主夫（パート・アルバイトをしている方も含む） 7 学生
8 無職（パート・アルバイトをしている方も含む）

問4 出身地について（いずれかに○をつけてください。）

- 1 佐渡市 2 佐渡市外（新潟県内） 3 佐渡市外（新潟県外）

問5 佐渡での居住年数について（いずれかに○をつけてください。）

- 1 1年未満 2 1年～5年 3 6年～10年 4 11年～15年
5 16年～20年 6 21年以上

問6 現在お住まいの地域について（いずれかに○をつけてください。）

- 1 両津 2 相川 3 佐和田 4 金井 5 新穂
6 畑野 7 真野 8 小木 9 羽茂 10 赤泊



【佐渡の国際化について】

問7 佐渡と海外との交流が進むことについて、あなたはどのように思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

- | | |
|---------------------|---------|
| 1 良いことだと思う | } 問7-2へ |
| 2 どちらかと言えば、良いことだと思う | |

- | | |
|-----------------------|---------|
| 3 どちらかと言えば、良くないことだと思う | } 問7-3へ |
| 4 良くないことだと思う | |

問7-2 佐渡と海外との交流が進むことで、あなたは特にどのようなことを期待しますか。(3つまで○をつけてください。)・・・問7で1または2と答えた方のみ

- | |
|---------------------------|
| 1 外国人との交流の機会が増えること |
| 2 国際的な感覚を持った人材が増えること |
| 3 外国人の訪問者が増え、地域が活性化すること |
| 4 経済交流が進むことにより、地域が活性化すること |
| 5 外国の生活習慣・文化を知ることができること |
| 6 外国語に触れる機会が増えること |
| 7 佐渡の世界的知名度が高まること |
| 8 特に期待することはない |
| 9 その他 () |

問7-3 佐渡と海外との交流が進むことで、あなたが不安に思うことはなんですか。(2つまで○をつけてください。)・・・問7で3または4と答えた方のみ

- | |
|------------------------------|
| 1 文化や習慣・マナーの違いにより発生するトラブル |
| 2 犯罪等の増加による治安の悪化 |
| 3 佐渡の伝統や文化等の古くからの良さが変わっていくこと |
| 4 その他 () |

【佐渡の魅力】

問8 世界に誇れる「佐渡の魅力」とは何だと思えますか。(3つまで○をつけてください。)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1 海、山、川などの豊かな自然 | 2 暮らしやすい生活環境 |
| 3 食文化の豊かさ | 4 人々の優しさ |
| 5 世界遺産登録を目指す佐渡金銀山 | 6 風光明媚な景観 |
| 7 国際保護鳥トキの棲む島 | 8 全島環境分野への積極的な取組(エコアイランド) |
| 9 豊富な歴史的建造物 | 10 佐渡民謡や鬼太鼓等の伝統芸能 |
| 11 様々な祭りなどの文化資源 | 12 特になし |
| 13 その他 () | |

【外国人誘客への取組】

問9 たくさんの外国人観光客から佐渡を訪れてもらうために、あなたはどんな取組に最も力を入れるべきだと思いますか。(3つまで○をつけてください。)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 中国や韓国等の近隣諸国での誘致活動 | 2 ホームページ等での外国語による情報提供 |
| 3 外国語による観光パンフレットの作成 | 4 観光関係機関の外国語対応 |
| 5 外国人観光客に対応できる人材の育成 | 6 島内交通機関の外国語対応 |
| 7 観光施設の整備 | 8 特になし |
| 9 その他 () | |

【外国人住民の増加】

問10 本市に在住している外国人は現在約 500 人となっており、増加傾向にあります。地域に外国人が増えていくことをどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

- 1 望ましい → その理由(いずれかに○)
- ア 外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるから
 - イ 地域で外国人と交流ができるから
 - ウ 地域の活性化につながるから
 - エ その他 ()
- 2 望ましくない → その理由(いずれかに○)
- ア なんとなく
 - イ 言葉や文化のハードル
 - ウ マスコミ等の風評による
 - エ その他 ()
- 3 わからない

【外国人住民とのトラブル】

問11 あなたは、外国人住民との間でトラブルを体験したことがありますか。又はご自分以外の方のトラブルについて聞いたことがありますか。ある場合にはその内容もお書きください。(いずれかに○をつけてください。)

- 1 ある→その内容(あてはまるものすべてに○)
- ア 生活に関すること
 - イ 仕事に関すること
 - ウ 学校に関すること
 - エ その他 ()
- 2 ない

【多文化共生への取組】

問 12 地域の日本人住民と外国人住民とが、文化や言語、生活習慣の違いを超えて、相互理解を深めながら、ともに暮らしやすい社会（＝多文化共生社会）を実現するためには、市、日本人住民、外国人住民及び民間活動団体が、それぞれどんな取組に力を入れるべきだと思いますか。

(1) 市がすべきこと（3つまで○をつけてください。）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 多言語による行政・生活情報の提供 | 2 外国人住民向け生活情報説明会の開催 |
| 3 外国人住民向け日本語講座の開催 | 4 日本人住民向け国際理解講座の開催 |
| 5 国際交流イベントの開催 | 6 民間活動団体に対する支援 |
| 7 特になし | |
| 8 その他（ | ） |

(2) 日本人住民がすべきこと（3つまで○をつけてください。）

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1 外国人住民への町内会・PTA等の地域情報の提供 | |
| 2 国際交流イベントへの参加 | 3 日本語教育等のボランティア活動 |
| 4 外国語の学習 | 5 異文化への理解 |
| 6 外国人住民の相談相手になる | 7 特になし |
| 8 その他（ | ） |

(3) 外国人住民がすべきこと（3つまで○をつけてください。）

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1 地域の生活ルールへの理解 | 2 町内会・PTA等の地域活動への参加 |
| 3 国際交流イベントへの参加 | 4 日本語の学習 |
| 5 日本文化への理解 | 6 他の外国人に対する支援活動 |
| 7 特になし | |
| 8 その他（ | ） |

(4) 民間活動団体がすべきこと（3つまで○をつけてください。）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 外国人住民向け日本語講座の開催 | 2 日本人住民向け国際理解講座の開催 |
| 3 国際交流イベントの開催 | 4 生活相談支援 |
| 5 外国語の通訳・翻訳支援 | 6 外国語による観光地等の案内支援 |
| 7 特になし | |
| 8 その他（ | ） |

【国際交流活動への参加】

問 13 あなたは、これまで何らかの国際交流活動に参加したことがありますか。（いずれかに○を付けてください。）

- 1 参加したことがある
- 2 参加したことがない

【参加してみたい国際交流活動について】

問 14 市や島内の国際交流団体が各種国際交流事業を実施していますが、今後、あなたが参加してみたい国際交流・国際協力活動はどれですか。（3つまで○をつけてください。）

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1 地域の外国人住民と直接交流が図れるようなイベント | |
| 2 外国の生活習慣や歴史に関する講座 | 3 外国語を学べるような講座 |
| 4 外国の料理講座 | 5 外国語による観光地等の案内支援 |
| 6 外国人向け観光パンフレットの作成支援 | 7 日本語教室での日本語指導支援 |
| 8 外国語の通訳・翻訳ボランティア | 9 外国人訪問者のホームステイの受入 |
| 10 外国人向け生活ガイドブックの作成支援 | 11 生活相談支援 |
| 12 発展途上国や被災地域での国際協力活動 | |
| 13 特になし | |
| 14 その他（ | ） |

※ 上記活動の中で、活動への参加・協力を希望する方は、別途佐渡市からご案内の文書を送付させていただきますので、住所等のご連絡先を記入してください。

住 所：	氏 名：
------	------

ご記入いただいた個人情報については、「財団法人新潟県国際交流協会個人情報保護規程」及び「佐渡市個人情報保護条例」に則して新潟県国際交流協会及び佐渡市が適正に管理し、国際交流活動に関する以外に使用することはありません。

【自由意見】

問 15 その他、佐渡市の国際化について、意見や要望があれば、自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、3月15日（日）までに、同封の封筒に入れて送り返してください。